

OKI

デジタルコードレス電話機

取扱説明書

この説明書は、お読みになった後も大切に保管してください。






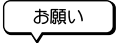

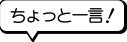
安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、お買い求めの販売店でお買い直してください。

本文中のマークの説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 Note	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ちょっと一言!	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店にお申しつけください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

危険

- 充電は、本電話機専用の充電台を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの漏液、発熱、破壊により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、プラス [+] ・ マイナス [-] の向きが決められています。本電話機に接続するときは、プラス [+] ・ マイナス [-] の向きを確かめてください。電池パックの漏液、発熱、破壊により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの漏液、発熱、破壊により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 火のそばや炎天下等の高温の場所で充電はしないでください。高温になると危険を防止する保護装置が動き充電できなくなったり、保護装置が壊れる原因となります。
- 同梱の電池パックは本電話機専用です。それ以外の機器には使用しないでください。電池パックの漏液、発熱、破壊により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 本電話機に使用する電池は同梱の電池パックまたは、同一の電池パックを使用してください。
- 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの漏液、発熱、破壊により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
 - 火の中に投入したり、加熱しない。
 - 直接はんだ付けしない。
 - プラス [+] ・ マイナス [-] を針金等の金属類で短絡しない。
 - 水、雨水、海水、薬品等につけたり、ぬらさない。
 - ネックレス等の金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しない。
- 電池コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、加熱したりすると、電池コードが破損し、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

危険

■ 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの漏液、発熱、破壊により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。

■ 電池パック内部の液が入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

警告

■ 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となることがあります。電話機の場合は直ちに充電をやめ電池パックを外し、充電台の場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してからお買い求めの販売店に至急ご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■ 万一、電話機を落としたり、電話機や充電台を破損した場合、本電話機の場合は充電をやめて電池パックを外し、充電台の場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。また、お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■ 運航の安全に支障をきたす恐れがありますので、航空機の機内などでは使用しないでください。また、電源も入れないでください。

■ 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しないでください。
● 電子機器が誤動作したりするなど影響が出る可能性があります。また、使用を制限された場所での使用はお控えください。(ご注意ください電子機器の例：補聴器、医療用電子機器など)

■ 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性がありますので、本電話機の電源を切るようにしてください。
● 電波によりペースメーカの作動に影響を与える場合があります。

■ 本商品の開口部やすまから内部に金属類や燃えやすいもの等の異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、電話機の場合は直ちに電池パックを外し、充電台の場合は直ちに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に至急ご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください



- 安全のため運転中のご使用はおやめ下さい。道路交通法により、運転中の携帯電話、自動車電話、PHSの使用は原則禁止されています。
- 電話機を電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。電池パックの発熱、破裂、発火等の原因になります。
- 引火性ガスが発生する場所では電話機を絶対に充電しないでください。火災の原因になります。
- 所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、直ちに充電をやめて、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざけてください。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電話機、充電台および電源プラグのそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- むれた手で電話機を操作したり、電池パックを交換しないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- むれた手で充電台の電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、束ねたりしないでください。また重いものを乗せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

警告

- 電源プラグは、埃が付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。埃により火災・感電の原因となることがあります。
- 充電台は、必ず付属のものを使用し、それ以外のは絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電話機を分解・改造しないでください。火災、感電の原因となることがあります。内部の点検・調整・清掃・修理はお買い求めの販売店にご依頼ください。また改造は法律で禁止されています。(分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります)
- 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。
- 歩行中に電話機を操作したり見たりしないでください。転倒、交通事故などの原因となることがあります。
- 電話機をねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは事故防止のため、小さいお子様の手の届かない所に保管してください。

注意

- 電話機および充電台のご使用にあたっては、次のことにご注意ください。
 - 初めてご使用になる場合や長時間使用されなかった場合は、必ず充電して異常のないことを確認してからお使いください。
 - 直射日光の当たるところ、自動車の中、暖房設備・ボイラーの側など著しく温度が高くなる場所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。
 - 調理台のそばなどの油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。
 - ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、電話機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

注意

- 電話機のアンテナを持って持ち運んだり、アンテナを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。故障の原因となります。
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず充電台の電源プラグをコンセントから抜いてください。また電話機の電源ボタンを切り、電池パックも取り出してください。
- 電話機および充電台の電源コードを熱器具に近づけないでください。本体やコードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となることがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグ本体を持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- 充電台をお手入れする際は、安全のため、あらかじめ電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。
- 充電台の上に指輪などの金属類を置かないでください。金属が熱くなり、火災・やけどなどの原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
- 充電は周囲温度5℃～35℃の範囲で行ってください。正常な充電ができなかったり、故障の原因となることがあります。
- 十分充電しても使用できる時間が短くなった場合は電池パックの寿命の可能性ががあります。お買い求めの販売店に電池パックの交換をお申し付けください。

お願い

電波の特性について

- 本電話機は電波を利用しているため、サービスエリア内であっても電波の届かないところ、電波の弱いところでは通話ができないことがあります。
- 構内モードにおいては、周囲の環境(壁、家具、什器など)によっては使用範囲が狭くなります。特にサービスエリアの端のほうでは、体の向きを変えたり、周囲で人が移動しただけで電波状態が変わり通話かどぎれたりすることがあります。

お願い

- 公衆モードにおいては、屋内、トンネル、地下、山間部など電波の届かないところでは通話できません。またビル内、ビルの陰などの電波の弱いところでは通話ができない場合があります。
- 通話中に電波の届かないところや電波の弱いところに移動した場合は、通話がとぎれたり切れたりすることがあります。
- トラックや車、オートバイが近くを通ったとき、電波が乱れて通話がとぎれたりすることがあります。

デジタル方式の特性について

- デジタル方式の特徴として、電波状態が悪いところであっても高品質な通話を保つことができますが、電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通話がとぎれることがあります。あらかじめご了承ください。

盗聴について

- 従来のアナログ方式と比べて高い秘話性を有しておりますが、電波を使用している関係上、通常の手段を越える方法がとられた場合には、第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点に十分配慮してご使用ください。

移動しながらのご利用について

- 高速で走る列車内や自動車などでは使用できません。通話するときはゆっくり歩か、立ち止まってご使用ください。また、この電話機をご使用になるために、禁止されている場所での駐停車はおやめください。

他の機器への影響について

- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 電話機、ファクシミリなどに近いと通話に雑音が入ったりすることがあります。
- 補聴器などをしながらご使用になると、補聴器に雑音が入ることがあります。
- 自動車の車種によっては、まれに車両電子機器に影響を与える場合があります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お願い

使用場所について

- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないください。電話機が正常に動作しないことがあります。
- 冷蔵倉庫などで電話機の使用温度範囲内であっても、出入りすることにより内部が結露して電話機が正常に動作しないことがあります。
 - 正常に動作しなくなったときは、電池パックを外し、十分に時間がたってから電源を入れるようにしてください。
- 金属製家具などの近くは避けてください。
 - 電波が飛びにくくなります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいつきは、使用できないことがあります。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、電話機などの寿命が短くなる場合があります。

周囲の環境について

- 電話機を設置するときは、基地局から約3m以上離してください。
 - 基地局にあまり近い場合は、本電話機が正常に動作しないことがあります。
- 操作をする前に電波の状態を確認して、なるべく電波の強い場所で行ってください。また、通話はなるべく電波の強い場所で行ってください。
 - 通話をしながら移動して使える場所でも、一旦電話を切ってからかけ直すときにつながらないことがあります。
- 使用中には充電台の電源プラグをコンセントから抜いたままにしないでください。電話機が充電できません。

国外への持ち出しについて

- 本電話機は日本国内でのご利用を前提としたものです。国外へ持ち出されてもご利用できません。

お願い

防水機能について

- 本電話機は、防水対応ではありませんので以下のような使用はできません。
 - 浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。
 - 水道水などの流水に直接当てないでください。
 - 水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。
 - ぬれたまま、0℃以下になる場所に放置しないでください。
 - 受話口や送話口の穴などに水滴が付いたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
 - 電話機に水滴が付いたまま、充電台に戻さないでください。

お手入れについて

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。電話機等の変色や変形の原因となります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

PHSサービスを利用して警察(110)、消防(119)、海上保安庁(118)にかけるときは…

- 立ち止まっておかけください。
 - 警察(110)、消防(119)、海上保安庁(118)にかけるときは、通話中にお話が途切れることがないように、立ち止まってご利用ください。
- 通話終了後に電源を切らないでください。
 - 警察(110)、消防(119)、海上保安庁(118)からの呼び出しができなくなります。
- PHSからの通話であることをお伝えください。
 - 警察(110)、消防(119)、海上保安庁(118)での対応がスムーズに行えるよう、PHSからの通話であることをお伝えください。
 - 詳しくは各PHS事業者にお問い合わせください。

目次

お客様へ、安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお読みください	1
------------------------	---

はじめに

各部の名前とはたらき	13
セットの内容	13
各部の名前とはたらき	13
ディスプレイの見方	15
ボタン(ランプ)表示	16

準備

こんなときはご利用になれません	17
お使いになる前に	18
電話機の電源を入れる	18
電話機を充電する	19
ハンドストラップを取り付ける	20
モードの設定	21
電話番号の確認	24
電池残量の確認	25
電波の状態の確認	25
現在の時刻を設定する	26
メニュー機能の操作	27

構内モードについて

構内モードの基本的な使い方	28
構内モードの利用	28
外線発信	30
・充電台から取り上げて発信する	30
・電話番号を確認して発信する(プリセットダイヤル)	31
外線着信	32
相手の方にお待ちいただく	33
・普通に保留する(通話保留)	33
・他の電話機で取れないようにする(自己保留)	34
・同じパーク保留グループ内の電話機で取れるように保留する(パーク保留)	35
電話を他の人にまわす(ダイヤル転送)	36
短縮ダイヤルで電話をかける	37
内線通話	38
・内線を呼び出す	38
・内線の呼び出しに応答する	39
・内線の音声呼び出しに応答する(ハンズフリー応答)	39
・外線ボタンに割り付けられる機能	39
構内モードのさらに便利な使い方	40
機能特番	40
外線・内線に共通な機能	41
・話中着信	41
・キャッチホン	41
・不在転送/未応答転送	42
外線に関する機能	45
・オフフック空外線自動捕捉	45
・会議通話	45
・フッキング	46

内線に関する機能	47
・一斉呼び出し/グループ呼び出し	47
・構内放送	48
・内線ホットライン	49
構内モードで音声メールを利用する	50
・通話録音	50
・通話録音中に保留する	50
・伝言録音	51
・メッセージ再生	52

公衆モードについて

公衆モードの使い方	54
PHSサービスの利用	54
構内でPHSサービスを利用する	56
電話をかける	57
電話を受ける	58
通話の保留	58
オフィスアンテナを設定する	59
PHSサービスを利用して電話をかける	60

トランシーバモードについて

トランシーバモードの使い方	61
トランシーバモードの番号を設定する	61
電話をかける	62
電話を受ける	63
トランシーバグループ登録	64

さらに便利に使うには

各モード共通のさらに便利な使い方	66
文字を入力する	66
・文字入力のしかた	66
電話帳ダイヤルでかける	69
・電話帳ダイヤルに登録する	69
・電話帳ダイヤルでかける	71
・電話帳ダイヤルを修正する	74
・電話帳ダイヤルを削除する	76
・電話帳グループの名前を設定する	79
・発信記録や着信記録の電話番号を登録する	80
・電話番号を組み合わせてかける	81
前に電話をかけた相手に再びかける(発信記録)	83
・かけた相手に再びかける	83
・発信記録を削除する	84
電話をかけてきた相手にこちらからかける(着信記録)	86
・かけてきた相手にこちらからかける	86
・着信記録を削除する	88
ワンタッチボタンでかける	90
・ワンタッチボタンで電話をかける	90
・電話番号を登録する	90
・登録した名前や電話番号を修正する	92
・登録した電話番号を削除する	93
・発信記録や着信記録の電話番号を登録する	94
・電話帳ダイヤルの電話番号を登録する	95
スピーカで聞きながら電話をかける	96
受話音量を調節する	97

目次

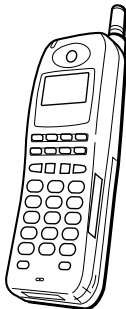
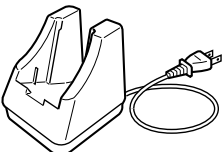
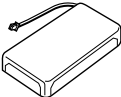


スピーカ音量を調節する	98
着信音量を調節する	99
着信の種類ごとに音をかえる	100
着信を振動で知らせる(バイブレーション着信)	101
マナーモード	102
・マナーモードを設定する	102
・マナーモードを解除する	102
・マナーモードの機能を選択する	102
誤操作の防止(キーロック)	104
・キーロックを設定する	104
・キーロックを解除する	104
暗証番号の登録/変更	105
・暗証番号の登録	105
電話をかけられないようにする(ダイヤルロック)	107
・ダイヤルロックの設定	107
・ダイヤルロックの解除	108
電話帳を開けないようにする(電話帳ロック)	109
・電話帳ロックの設定/解除	109
アラーム時刻を設定する	111
32Kデータ通信	112
スイッチ付イヤホンマイクを使う	113
・電話をかける	113
・電話を受ける	113
いろいろな機能を設定する	115
・操作するときの音を消す(キータッチトーン)	116
・クイック通話	116
・使用者名表示	117
・ダイヤルを押すだけで着信に応答する(エニーキー応答)	118
・モデム通信	118
・サブアドレスを通知する	119
・自営圏外通知	120
・公衆のエリア内に入ったことを通知する(公衆圏内通知)	120
・電話番号通知	121
・公衆モード時ディスプレイ表示	121
・充電確認音	122
・クイック発信保護	122
・データ着信音	123
・操作が分からないときは(ヘルプ表示)	123

ご参考に

メニューボタンで設定できる機能の一覧	124
電池パックの取り扱い	126
電池パックの交換	126
電池の残量がなくなったときは	128
通話できる範囲から外れたときは	129
故障かな?と思ったら	130
こんな音がしたら	133
オプション	134
主な仕様	135
電池使用可能時間の目安	135
保守サービスのご案内	136

1 各部の名前とはたらき

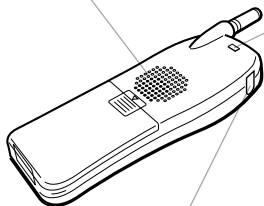
セットの内容

●電話機本体	●充電台	●電池パック	●電池カバー
			
	●ストラップ		●取扱説明書
			●機能シール

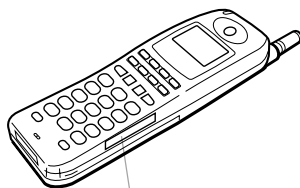
各部の名前とはたらき

●スピーカ口

着信音、警告(報)音などの音が鳴る部分です。



●ハンドストラップ取付穴



●イヤホンマイク差込口

オプションのイヤホンマイクを差し込んで使用します。

●データコネクタ部

32Kデータ通信を行うときに使用します。

1 各部の名前とはたらき

●着信／充電ランプ

電話がかかってきたときに点滅します。充電中は赤色が点灯します。

●外線ボタン (フレキシブルファンクション)

ボタン電話機と同様、システムの設定によりいろいろな機能を割り付けることができます。

●電話帳ボタン

電話帳ダイヤルを登録するとき、電話帳を使って電話をかけるときに使用します。

●通話ボタン

電話をかけるときや受けるときに使用します。初期設定で外線ボタンが割り付けられています。

●ダイヤルボタン

電話番号や文字を入力するときに使用します。

●機能／カナ／英ボタン

他のボタンと組み合わせているいろいろな機能を使ったり、文字の入力モードの選択に使用します。

●アンテナ

●受話口

●ディスプレイ

ダイヤルモニタやいろいろな状態表示を行います。

●音量／検索ボタン

受話音量や着信音量、スピーカ音量を調節します。電話帳やメニュー機能の検索にも使用します。

●保留／メニューボタン

電話を保留するときに使用します。メニュー機能の操作にも使用します。

●切／電源ボタン

電源を入り／切りするとき、通話を終わるときに使用します。

●再ダイヤル／クリアボタン

前にかけた相手に再びかけるときや、入力した電話番号や文字を訂正するときに使用します。

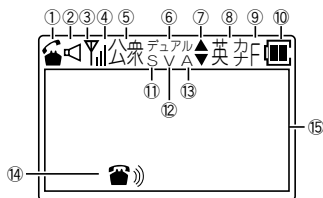
●送話口(マイク)

●スピーカボタン

相手の声などをスピーカから聞くとときに使用します。




ディスプレイの見方



①電話マーク	点 滅：基地局と制御信号のやりとりをしています。 点 灯：電話中であることを表します。
②スピーカマーク	スピーカがオンになっていることを表します。
③アンテナマーク	基地局と通信が可能なことを表します。
④電波レベルマーク	基地局から受けている電波の強さを4段階で表します。 電話をかけるときはできるだけバーが2本以上立っているところで操作してください。
⑤公衆マーク	公衆モードになっていることを表します。 デュアルモードのときはPHSサービスエリア内にいることを表します。
⑥デュアルマーク	デュアルモードになっていることを表しています。
⑦スクロールマーク	▼▲で表示画面をスクロールすることができるとき点灯します。
⑧カナ英マーク	電話帳登録などの際に入力モードがカナ入力／英字入力になっていることを表します。
⑨機能マーク	機能ボタンを使った操作を行っていることを表します。
⑩電池マーク	電池残量の目安を3段階で表します。 電池中の表示がなくなり枠だけの表示になったら、できるだけ早めに充電するようにしてください。 電池残量警報状態になったときは電池の枠が点滅します。
⑪サイレントマーク	着信音を鳴らさない設定になっていることを表します。
⑫バイブレーションマーク	着信を振動で知らせる設定になっていることを表します。
⑬アラームマーク	時計アラームが設定されていることを表します。

1 各部の名前とはたらき

⑭  未応答通知	電話番号が通知されている電話がかかってきた場合に、電話に出られなかったときに表示されます。 このマークは着信記録を表示する操作を行うと消えます。 <着信記録>…(→86ページ)
⑮ 表示部	入力されたダイヤル番号や各種の状態を表示します。

- ディスプレイに表示される文字は、この取扱説明書での字体と一部異なる部分があります。

ボタン(ランプ)表示


ランプの種類	ランプのつき方	電話機の状態
外線ボタン(ランプ)	点灯 (緑)	自分の電話機で通話中
	点灯 (赤)	他の内線電話機が通話中
	点滅 (赤)	電話がかかってきた
	点滅 (緑)	他の内線電話機が保留中
	周期的に2回点滅 (緑)	自分の電話機で保留中
ダイヤルライト	点灯 (緑)	ダイヤルボタンなどの操作をしている
着信/充電ランプ	点灯 (緑)	充電がほぼ完了した
	点灯 (赤)	充電中
	遅い点滅 (赤)	電池の異常などで充電できない
	点滅 (赤)	電話がかかってきた

- 待ち受け中で充電台に置いていないときは、省電力のため、最後に操作してから30秒経過すると外線ランプの表示は消灯します。工事のデータ設定で、消灯しないようにすることもできます。

2 こんなときはご利用になれません

ディスプレイの マークが消えているとき

サービスエリア以外の場所や、サービスエリア内でも電波の弱い場所にいるために、電話をかけたり受けたりできません。

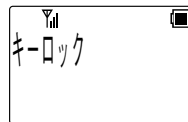
(対処方法)  マークが表示されるように電波状態のよい場所まで移動してください。



ディスプレイに「キーロック」が表示されるとき

誤操作を防止するキーロックが設定されています。

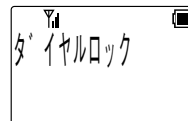
(対処方法) キーロックを解除してください。
<キーロックを解除する>…
(→104ページ)



ディスプレイに「ダイヤルロック」が表示されるとき

発信を禁止するダイヤルロックが設定されています。

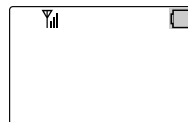
(対処方法) ダイヤルロックを解除してください。
<ダイヤルロックの解除>…
(→108ページ)



ディスプレイの マークが点滅しているとき

電池がなくなりかけています。このとき、ピ…ピ…ピ…という電池残量警報音も鳴ります。

(対処方法) 電話機を充電してください。
<電話機を充電する>…(→19ページ)



1 はじめに

2 準備

3 構内モード

4 公衆モード

5 モンシューパ

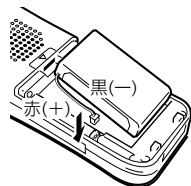
6 さらに便利

7 参考に

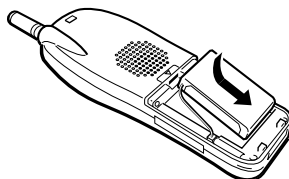
2 お使いになる前に

電話機の電源を入れる

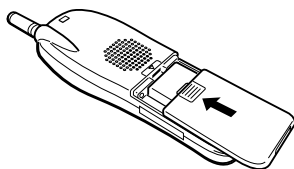
- 1 同梱の電池パックのコネクタを差し込みます。



- 2 電池パックを電話機にセットします。



- 3 同梱の電池カバーを取り付けます。

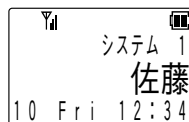


- 4 電源(切)を1秒以上押します。

- ディスプレイに表示がでて、ピーと音がします。



- ディスプレイの上段に表示される文字は、工事で設定できます。
- ディスプレイの中段に表示される文字は、登録モードで設定できます。



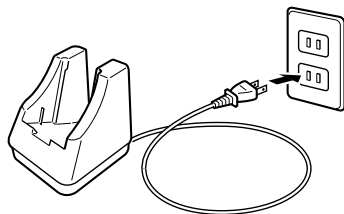
ちよつと一言!

- 電源を切るには電源(切)を1秒以上押します。

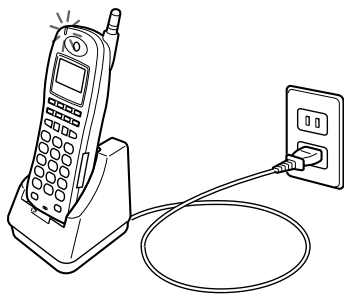
電話機を充電する

充電台は必ず同梱されている専用の充電台をお使いください。

1 電源プラグを電源コンセント(AC100V)に差し込みます。



2 電話機を充電台に置き、7時間以上充電します。 充電台に置いたとき、充電ランプが赤く点灯することをご確認ください。



Note



- 電話機の充電ランプは充電がほぼ終了すると緑色の点灯に変わります。
- 充電中は充電台や電話機があたたかくなることがありますが故障ではありません。
- 充電中は電話機の電源を入れることはできません。電話機を充電台から取り上げて電源を入れて下さい。
- 電話機の電源が入っているときは、充電完了まで7時間以上かかる場合があります。

1 はじめに

2 準備

3 構内モード

4 公衆モード

5 モバイルモード

6 さらに使うには

7 参考に

2 お使いになる前に

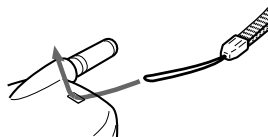
お願い

- はじめてお使いのときや、長い間お使いにならなかったときは必ず7時間以上充電してください。
- 電話機および充電台がぬれているときは、必ず乾いた布などでふき取ってから充電してください。
- 充電は周囲の温度が5℃～35℃の間で行ってください。5℃以下や35℃以上のときは正しく充電できないことがあります。
- 充電が正しく行われていないと、電話機の充電ランプが赤く点滅します。このときは電話機を充電台に正しく置き直してください。また電池が古くなったり壊れたりしているときにも赤く点滅します。このときは電池パックの交換が必要です。お買い求めの販売店にお申し付けください。
- 電池残量が極めて少ない場合は、充電台に置いてても充電ランプが点灯しないときがあります。電池が古くなったり壊れたりしていなければ約5分ほどで充電ランプが点灯します。

ハンドストラップを取り付ける

携帯するとき、思わぬ落下を防ぐために手首に通してお使いいただくことをおすすめします。

- 1 ハンドストラップの細いひもの輪の部分、取り付け穴の上から通します。



- 2 出てきた細いひもの中に反対側のひもを通して引き絞ってください。

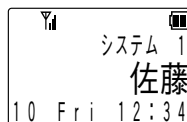


モードの設定

この電話機は、お客様のご利用に合わせて次の4つの動作モードを切り替えてご使用いただけます。

1 構内モード

- システムの内線電話機としてご使用になれます。



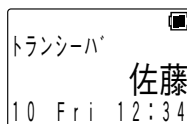
2 公衆モード

- PHS事業者とご契約いただくと、PHSサービスを受けることができます。



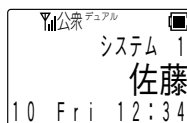
3 トランシーバモード

- 基地局を介さずにトランシーバとしてご利用いただけます。



4 デュアルモード

- PHSサービスご加入が必要です。
- PHSサービスエリア内でも構内で使える範囲にいる場合には、PHSサービスの電話番号と構内の電話番号のどちらの着信も受けることができます。
- 電話をかけるときは構内の電話番号での発信が優先されます。PHSサービスを利用して電話をかけるときは公衆選択発信の操作を行って下さい。＜公衆選択発信＞…(→60ページ)



ちょっと一言!

- 公衆モードの待ち受け中にディスプレイ上段に表示される文字(お買い上げ時の設定は"PHS")、および各モードの待ち受け中にディスプレイの中段に表示される文字は(お買い上げ時の設定は無し)、登録モードで設定できます。(→117,121ページ)
- 構内モードの待ち受け中にディスプレイ上段に表示される文字は(お買い上げ時の設定は"システム1~9")、工事で設定できます。

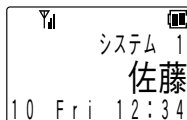
2 お使いになる前に

電源を入れるときにモードを決めるには…

この電話機は、ダイヤルボタンを押しながら電源を入れることによって、動作モードを選ぶことができます。

構内モードにするには

- 電源を切った状態から、**(2)**を押しながら電源**(切)**を約1秒間押し続けます。



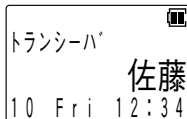
公衆モードにするには

- 電源を切った状態から、**(5)**を押しながら電源**(切)**を約1秒間押し続けます。
- ただしPHS事業者とご契約をされていない電話機の場合は、ディスプレイに「データミトウロク」と表示されて動作しません。このときは電源**(切)**を約1秒間押し続けて電源を切ってください。



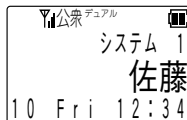
トランシーバモードにするには

- 電源を切った状態から、**(8)**を押しながら電源**(切)**を約1秒間押し続けます。



デュアルモードにするには

- 電源を切った状態から、**(0)**を押しながら電源**(切)**を約1秒間押し続けます。



Note



- 電源を入れるときに決めた動作モードの指定は電源を切ると解除されます。

ご利用中に動作モードを変更するには…

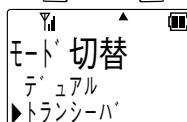
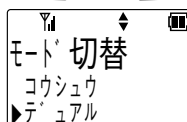
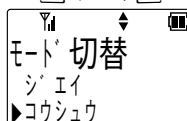
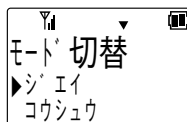
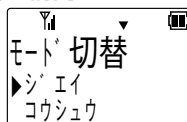
構内では内線電話機としてご利用になっていて、外出先で公衆モードに変更するよう
な場合、以下の手順でモードを変更します。

1 待ち受け状態で、**保留** **1** **3** **保留** の順 に押します。

- 現在のモードが選択表示され、モードの切り替えが可能になります。

2 ご利用になるモードが選択されるまで、 **▼**または**▲**を繰り返し押します。

<例>構内モード



3 **保留**を押します。

- ピピという確認音が鳴り、表示されているモードが設定されます。

Note

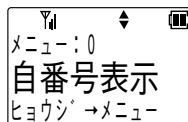
- 待ち受け状態とは、発信、着信、通話などの操作を行っていない状態のことです。このときディスプレイには、登録された文字や数字が表示されます。
- PHS事業者とのご契約をされていない電話機は、構内モードとトランシーバモードのみの切り替えになります。
- 動作モードの変更は電源を切っても記憶されます。

2 お使いになる前に

電話番号の確認

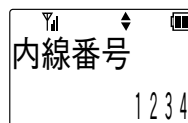
お客様の電話機に登録された電話番号を表示します。
電話番号には、内線電話番号、PHS電話番号、トランシーバ番号の3つがあります。

- 1 待ち受け状態で、**保留** **072/86** の順に押し
ます。



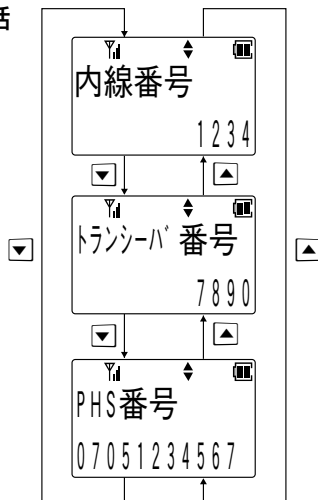
- 2 **保留** を押し
ます。

- ディスプレイに、そのときの動作モードにお
ける電話番号が表示されます。



- 3 **▼** または **▲** を押して次のモードの電話
番号を表示します。

- 登録されていないモードは表示しません。



Note

- PHS事業者とのご契約をされていない電話機の場合は、PHS電話番号はありません。
- トランシーバ番号を設定していない場合は、あらかじめ工事で設定された番号が表示されます。

電池残量の確認

電池残量はディスプレイに表示されます。電池残量は目安の表示です。



十分残っています。




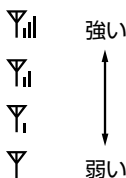
まだ使えます。



少なくなってきました。できるだけ早く充電してください。

電波の状態の確認

電話をかけたり受けたりすることができる状態のとき、ディスプレイに  マークが表示され、4段階で基地局の電波の強さを表します。



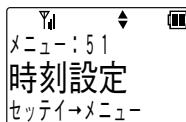
- 電波の弱い場所では、電話をかけたり受けたりできない場合があります。
- 電波の強い場所でも自動的に基地局などに登録動作を行っているために、電話を受けることができない場合があります。
- アンテナを伸ばすと受信感度が良くなります。アンテナは「カチッ」と止まるまで伸ばしてお使い下さい。

2 お使いになる前に

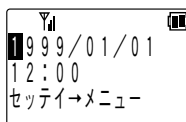
現在の時刻を設定する

電話機が内蔵する時計の日付と時刻を設定します。
(時刻を設定しないとアラーム機能などが正しく動作しません)

- 1 待ち受け状態で、**保留** **5ナ** **1ア**の順に押します。

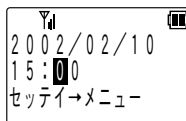


- 2 **保留**を押します。



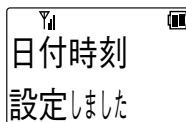
- 3 現在の時刻を入力します。

- 年→月→日→時刻の順に入力します。
- **＊2ア**、**＊2ナ**でカーソルの移動ができます。
- 時刻は24時間制です。



- 4 **保留**を押します。

- 設定が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



Note

- 電池が消耗した場合や電池交換時に時刻は初期状態に戻ります。そのときは、再度設定してください。
- 時計の精度は、月差約60秒以内です。

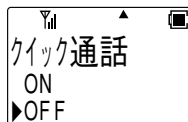
メニュー機能の操作

各種機能の設定を選ぶにはメニュー番号で選ぶ方法と、メニューを検索して選ぶ方法があります。

メニュー番号で選ぶには

【例】メニュー番号52(クイック通話)の場合

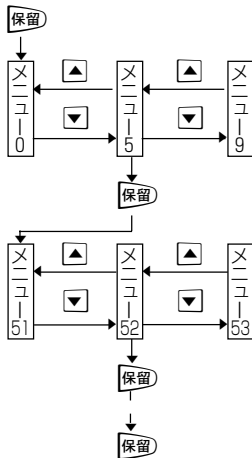
- 待ち受け状態で、**保留** **5** **2** **保留** の順に押します。
 - メニュー番号52を押すとクイック通話の設定画面が表示されます。
- 設定する内容を選び**保留**を押します。
 - 待ち受け状態に戻ります。



検索して選ぶには

【例】メニュー番号52(クイック通話)の場合

- 保留**を押します。
- ▼**または**▲**を押して希望のメニューを表示させます。
- 保留**を押します。
- ▼**または**▲**を押して希望のメニューを表示させます。
- 保留**を押します。
 - クイック通話の設定画面が表示されます。
- 設定する内容を選び**保留**を押します。
 - 待ち受け状態に戻ります。



Note

- **保留** のかわりにクリア (☐) を押すとひとつ前の画面に戻ることができます。
- メニューの表示内容一覧は「メニューボタンで設定できる機能の一覧」をご覧ください。(→124ページ)
- **切** を押すとメニュー機能の操作を中止することができます。

3 構内モードの基本的な使い方

構内モードの利用

この電話機は、システムの主装置に接続された基地局を介して、外線ボタン付きの内線電話機としてご利用いただけます。

モードの設定

- ・構内モードまたはデュアルモードに設定してお使いください。

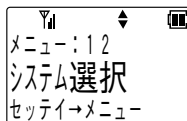
使える事業所（システム）の数

- ・この電話機は最大9カ所の事業所（システム）に登録できます。

事業所（システム）の選択

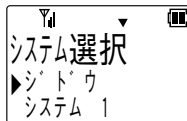
- ・事業所（システム）間を移動したときは自動的に切り替わります。
- ・2カ所以上の事業所（システム）のサービスエリアが重なっているときは以下のように選択します。

1 待ち受け状態で、**保留** **1** **2カ**の順に押して「システム選択」を表示させます。

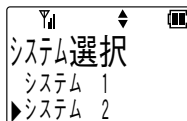


2 **保留**を押します。

- ・現在選択しているシステムの名称を表示します。

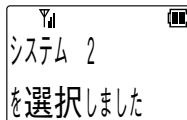


3 **▼**または**▲**を押して登録されているシステムを選択します。



4 **保留**を押します。

- ・ピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



ちょっと一言!

- 「ジドウ」を選択すると登録されているシステムの中から、自動的にシステムを選択します。

通話できる範囲からはずれたとき

- 「自営圏外通知」を設定すると、エリア外となったときに音で確認できます。

外線ボタンについて

- 8個の外線ボタンは主装置の設定により、システムのいろいろな機能を割り付けることができます。また、状態を赤または緑の点灯や点滅で表示することができます。

ディスプレイ表示

- 主装置のサービス機能を利用するときに各種サービス機能の状態が表示されます。

着信音の識別

- 内線からの着信や外線からの着信を音で識別できます。

1 はじめに

2 準備

3 構内モードについて

4 公衆モードについて

5 モトランシーブについて

6 さらに便利に使うには

7 ご参考に

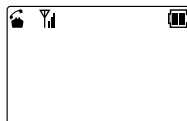
3 構内モードの基本的な使い方

外線発信

充電台から取り上げて発信する

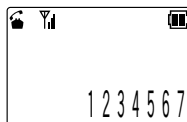
1 外線ボタンを押します。

- ツーという発信音を確認してください。
- 外線ボタンが緑に点灯します。



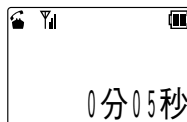
2 相手の電話番号をダイヤルします。

- しばらくすると相手を呼び出している音が聞こえます。



3 相手が応答したら通話ができます。

- ディスプレイの2行目に通話時間を表示します。



4 通話が終わったら(切)を押して電話機を充電台に戻します。

Note

- 外線ボタンを押すかわりに、[外線捕捉]特番または[指定外線捕捉]特番をダイヤルすることにより外線を捕捉することもできます。

ちょっと一言!

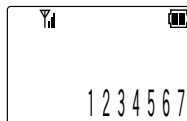
- 主装置で「オフフック空外線自動捕捉」機能の設定をすると、(通話)を押すだけで外線を捕捉することができます。<オフフック空外線自動捕捉>…(→45ページ)
- 12桁をこえるダイヤルを入力したときは下12桁を表示します。

電話番号を確認して発信する(プリセットダイヤル)

1 待機中であることを確認して、相手の電話番号をダイヤルします。

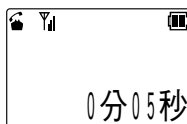
2 外線ボタンを押します。

- 外線ボタンが緑に点灯します。
- しばらくすると相手呼び出ししている音が聞こえます。



3 相手が応答したら通話ができます。

- ディスプレイの2行目に通話時間を表示します。



4 通話が終わったら(切)を押して電話機を充電台に戻します。

ちょっと一言!

- ダイヤル途中で(切)を押すと、それまでに入力したダイヤルがすべて消えますので、入力途中の間違いに気がついたときなどにお使いください。

Note



- ダイヤルを途中でやめると、約6秒後に待ち受け状態の表示にもどります。
- PBXなどの交換機に接続した外線のときは「外線発信番号」をダイヤルしてから相手の方の電話番号をダイヤルしてください。PBXの種類によっては発信できない場合があります。

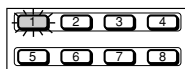
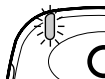
3 構内モードの基本的な使い方

外線着信

外から電話がかかってくると、外線ボタンが赤く点滅します。

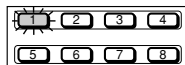
1 外線ボタンが赤く点滅します。

- ・着信ランプが点滅します。

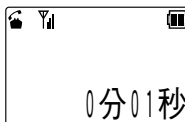


2 電話機を充電台から取り上げて、点滅している外線ボタンを押します。

- ・外線ボタンが緑に点灯します。



3 相手と通話ができます。



4 通話が終わったら(切)を押して、電話機を充電台に戻します。

ちょっと一言!

- 着信音が鳴っているとき外線ボタン、(通話)以外で応答する場合
「エニーキー応答」が設定されていると、電話がかかってくる時にダイヤルボタンを押すことで通話できます。〈エニーキー応答〉…(→118ページ)
- 着信音が鳴っているとき「クイック通話」が設定されていると、電話機を充電台から取り上げた後、外線ボタンを押さなくても相手との通話ができます。
〈クイック通話〉…(→116ページ)
- 着信音が鳴っているとき(切)を押すと、その着信に関してのみ着信音およびバイブレーションを止めることができます。

相手の方にお待ちいただく

通話を一時中断して相手の方に待っていただくときには保留します。相手の方へは保留音が流れます。

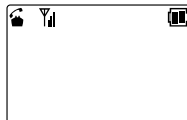
保留には、他の内線電話機でも電話にできる通話保留、他の内線電話機ではできない自己保留と、同じパーク保留グループ内の内線電話機で電話にできるパーク保留があります。

普通に保留する(通話保留)

1 通話中の相手の方に待っていただくように伝えます。

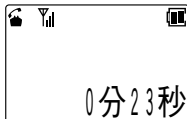
2 保留を押します。

- 相手の方には保留音が聞こえます。
- 外線ボタンが緑に点滅します。
- 通話ボタンが赤に点灯します。



3 保留している外線ボタンを押せば、保留していた相手の方と再び通話できます。

- 外線ボタンが緑に点灯します。



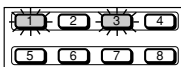
3 構内モードの基本的な使い方

他の電話機で取れないようにする(自己保留)

1 通話中の相手の方に待っていただくように伝えます。

2 [自己保留] ボタンを押します。

- 相手の方には保留音が聞こえます。
- 自己保留ボタンが周期的に2回点滅します。
- 外線ボタンが緑に周期的に2回点滅します。
- 通話ボタンが赤に点灯します。



【例】

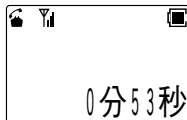
1 …外線

3 …自己保留



3 保留している外線ボタンを押せば、保留していた相手の方と再び通話することができます。

- 外線ボタンが緑に点灯します。
- 自己保留ボタンが消灯します。



Note

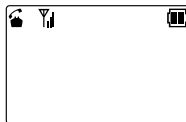
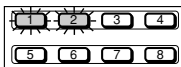


- 主装置のデータ設定で[自己保留] ボタンを外線ボタンに割り付けることが必要です。
- 自己保留を行ったときは、他の電話機の外線ボタンはビジー表示のままとなります。

同じパーク保留グループ内の電話機で取れるように保留する(パーク保留)

1 通話中に、[パーク保留]ボタンを押します。

- 相手の方には保留音が聞こえます。
- パーク保留ボタンが緑に周期的に2回点滅します。
- 外線ボタンが緑に周期的に点滅します。
- 通話ボタンが赤に点灯します。

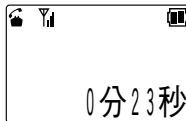


【例】

- 1 …外線
- 2 …パーク保留

2 [パーク保留]ボタンを押すと、保留していた相手の方と再び通話することができます。

- 外線ボタンが緑に点灯します。



Note



- 主装置のデータ設定で、[パーク保留]ボタンを外線ボタンに割り付けることが必要です。

3 構内モードの基本的な使い方

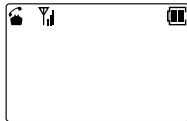
電話を他の人にまわす(ダイヤル転送)

外線通話や内線通話を他の内線電話機に転送することができます。

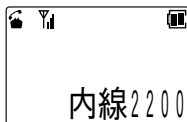
1 通話中の相手の方に待っていただくように伝えます。

2 **通話** を押します。

- 相手の方には保留音が聞こえます。
- 外線ボタンが緑に点灯します。
- 通話ボタンが赤にゆっくり点滅します。



3 通話を取り次ぎたい内線電話機の内線番号をダイヤルします。



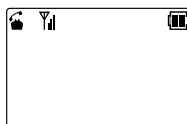
4 内線の相手が応答したら、転送する旨を伝えてから**切**を押して、電話機を充電台に戻します。

短縮ダイヤルで電話をかける

この電話機では、一般のボタン電話機と同じようにシステム短縮ダイヤルを利用できます。

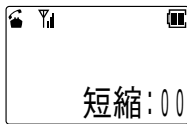
- 1 電話機を充電台から取り上げて**〔通話〕**を押します。

• 通話ボタンが赤に点灯します。

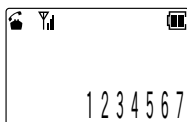


- 2 [短縮] ボタンを押します。

- 3 システム短縮ダイヤルの短縮番号を押します。



- 4 システム短縮ダイヤルに登録されている電話番号が表示されます。



ちよつと言!

- システム短縮ダイヤルの短縮番号の登録および変更は、ボタン電話機から行ってください。
- 操作手順 2 で [短縮] ボタンの代わりに [短縮] 特番をダイヤルすることもできます。

Note



- 主装置のデータ設定で、[短縮] ボタンを外線ボタンに割り付ける必要があります。

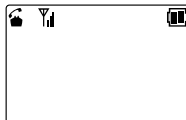
3 構内モードの基本的な使い方

内線通話

内線呼び出す

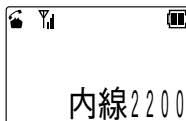
- 1 電話機を充電台から取り上げて(通話)を押します。

・通話ボタンが赤に点灯します。



- 2 内線番号をダイヤルします。

・しばらくすると相手呼び出ししている音が聞こえます。



- 3 相手が応答したら通話できます。(＊)を押すと声で呼び出すことができます。

- 4 通話が終わったら(切)を押して、電話機を充電台に戻します。

ちょっと一言!

- 内線呼び出し後、相手話中または呼び出し中に末尾1桁をダイヤルすることで、相手内線を変更することができます。(シリーズコールの設定が必要です。)

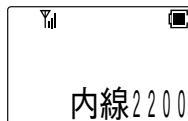
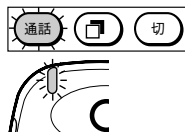
Note



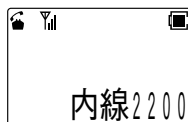
- 相手の電話機の種類により音声呼び出しができない場合があります。

内線の呼び出しに応答する

- 1 電話機の着信音が鳴り、着信ランプと通話ボタンが点滅します。



- 2 電話機を充電台から取り上げて **通話** を押します。
・通話ボタンが赤に点灯します。



- 3 電話をかけてきた相手と通話できます。
- 4 通話が終わったら **切** を押して、電話機を充電台に戻します。

内線の音声呼び出しに応答する(ハンズフリー応答)

内線の音声呼び出しを受けたとき、ハンズフリー応答することができます。

外線ボタンに割り付けられる機能

外線に使用しない外線ボタンに各種の機能が割り付けられます。この電話機でご利用になれる機能は以下の通りです。

機 能			
短縮ダイヤル	割り込み	外線代理応答	応答
代理応答	フッキング	内線代理応答	パーク保留(システム)
秘解/会議	通話録音	DSS	パーク保留(グループ)
自己保留	録音終了	メールボックス	VOIP専用線
予約	外線発信	MSA	
指定代理応答	キャリア選択	発信	

Note



- 外線ボタンに機能を割り付けるには、主装置のデータ設定が必要です。詳しくはお買い求めの販売店にご相談ください。

3 構内モードのさらに便利な使い方

機能特番

一般のボタン電話機では、「特番」をダイヤルすることで、機能キーが割り付けられていないときでもシステムのいろいろな機能がご利用になれますが、この電話機でも以下の操作で機能キーの割り付けなしにシステムの機能がご利用になれます。

一般のボタン電話機の場合：「特番」

この電話機の場合：  + 「特番」

この電話機でご利用になれる機能特番は以下の通りです。

特番の種類	初期値	特番の種類	初期値
外線捕捉	0	フッキング送出	—
外線発信	—	指定専用線捕捉	70
キャリア選択	—	グループ音声呼び出し	*0
リダイヤル	80	グループ音声呼び出し応答	#0
短縮	6	放送呼び出し	*9
代理発信	82	放送応答	#9
発信予約	—	DGLグループ呼び出し	—
グループパーク保留/応答	84~89	会議	—
システムパーク保留/応答	—	メールアクセス	71
代理応答	81	ドアホン呼び出し	—
不在転送	—	通話中着信	—
FAX転送	—	FAX発信	—
外線代理応答	—	データ通信	—
内線代理応答	—		
指定外線捕捉	83		

Note

- 初期値が決まっていない機能と初期値を変更する機能は、主装置のデータ設定で番号を設定します。

詳しくはお買い求めの販売店にご相談ください。

外線・内線に共通な機能

話中着信

通話中に他の電話機から呼び出しがあると着信音を鳴らすことができます。

- 1 通話中に他の電話機からの呼び出しがあると、着信音が受話口から聞こえます。
 - ・内線からの着信の場合、受話口より“ピーツ”という着信音が聞こえます。
 - ・外線からの着信の場合、受話口より“プブ”という着信音が聞こえます。
- 2 通話中の電話を(切)を押して終わらせると、後からかかってきた電話の着信音が鳴りますので、再度(通話)を押して応答してください。

ちよつと一言!

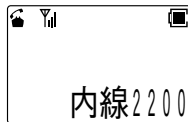
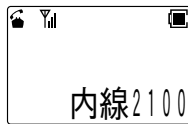
- 通話中の通話を中断して、後からかかってきた電話に応答することもできます。
<キャッチホン>…(→41ページ)
- この機能は主装置のデータ設定が必要です。

キャッチホン

通話中にかかってきた電話にキャッチホンで応答できます。

- 1 通話中に他の電話機からの呼び出しがあると、ピーツという小さな着信音が受話口から聞こえます。
- 2 (通話)を押すと後からかかってきた電話に出ることができます。
 - ・それまで通話していた相手には保留音が流れます。
- 3 再度(通話)を押すと前に通話していた相手との通話に戻ります。
 - ・後から電話をかけてきた方には保留音が流れます。

【例】先に通話していたのが内線2200番の方だったとき



3 構内モードのさらに便利な使い方

- 4 **通話**を押すたびに通話する相手を替えることができます。

ちょっと一言!

- 通話を終わらせるときには**切**を押してください。しばらくすると着信音が鳴ります。ここで**通話**を押すと保留していた方との通話に戻ります。

不在転送／未応答転送

この電話機への呼び出しがあっても、そのまま他の内線電話機に転送することができます。

●不在転送

転送先の電話番号を登録することにより、この電話機にかかってきた電話を、着信音を鳴らさずにそのまま他の内線電話機に転送することができます。

●未応答転送

転送先の電話番号を登録することにより、この電話機にかかってきた電話に一定時間たっても応答しないときは、その電話を他の内線電話機に転送することができます。(主装置のデータ設定で行います。)

不在転送

- 1 待ち受け中に**通話**を押します。



- 受話口から内線ダイヤルトーンが聞こえます。
- 通話ボタンが点灯します。

- 2 [不在転送]特番をダイヤルします。

- 3 **切**を押して待ち受け状態に戻ります。

Note

- この機能を使うときは、主装置のデータ設定で[不在転送]特番を作っておく必要があります。

転送先の内線電話番号の登録・変更

1 待ち受け中に **通話** を押し
ます。



- 受話口から内線ダイヤルトーンが聞こえます。
- 通話ボタンが点灯します。

2 [不在転送登録]特番をダイヤルします。

3 “1”をダイヤルします。

4 転送先の内線電話番号(1~4桁)をダイヤルします。

5 **切** を押して待ち受け状態に戻ります。

Note

- この機能を使うときは、主装置のデータ設定で「不在転送登録」特番を作っておく必要があります。

1 はじめに

2 準備

3 構内モードについて

4 公衆モードについて

5 モトランシーブについて

6 さらに便利は

7 ご参考に

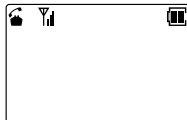
3 構内モードのさらに便利な使い方

転送先の外線番号の登録・変更

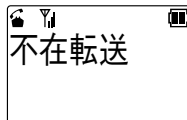
- 1 待ち受け中に **通話** を押します。



- 受話口から内線ダイヤルトーンが聞こえます。
- 通話ボタンが点灯します。

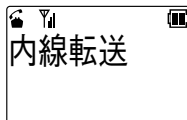


- 2 [不在転送登録]特番をダイヤルします。

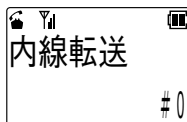


- 3 “1#0”をダイヤルします。

“1”をダイヤルすると

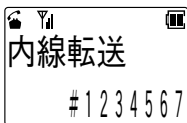


“#0”をダイヤルすると

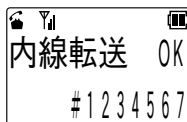


- 4 転送先の外線電話番号をダイヤルします。

【例】ダイヤルを1234567としたとき



- 5 **保留** を押します。



- 6 **切** を押して待ち受け状態に戻ります。

外線に関する機能

オフック空外線自動捕捉

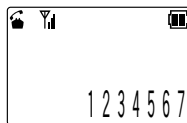
空いている外線を自動的に選んで電話をかけることができます。

- 1 電話機を充電台から取り上げて(通話)を押します。

- 外線ボタンが緑に点灯します。



- 2 相手の電話番号をダイヤルします。



Note



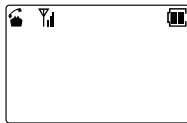
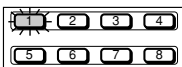
- 空いている外線がないときは電話をかけられません。しばらく待ってからかけ直してください。
- この機能は主装置のデータ設定が必要です。主装置データの設定および変更については、お買い求めの販売店にご相談ください。

会議通話

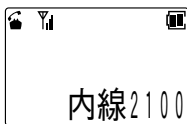
通話中に他の内線電話機または外線を呼び出して3者または4者で通話できます。

- 1 通話中に(通話)を押します。

- 内線ダイヤルトーンが聞こえます。
- 通話ボタンが赤にゆっくり点滅します。



- 2 会議に参加させたい方の内線番号または外線番号をダイヤルします。

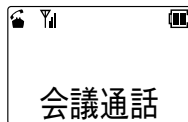


3 構内モードのさらに便利な使い方

3 つながったら「会議通話に参加してください」のように連絡します。

4 [会議] ボタンを押します。

- この状態でさらに手順 1 から 4 の操作を行うと4者での会議ができます。
- ディスプレイ下段に「会議通話」と表示されます。



ちよつと言!

- 会議通話は主装置のデータ設定で[会議] ボタンを外線ボタンに割り付けることが必要です。
- 操作手順 2 では、外線・内線番号の前に、[会議] 特番をダイヤルし、応答後の[通話] ボタンで会議通話することができます。

フッキング

外線や主装置が接続されている上位交換機にフッキング信号を送出することができます。

外線の場合はNTTのキャッチホンサービスなどを受けることができます。また、上位交換機のサービス機能を利用することもできます。

通話中に[フッキング] ボタンを押すと、外線にはフッキング信号を送出します。

ちよつと言!

- [フッキング] ボタンをお使いになるためには、あらかじめ電話機のデータ設定が必要が必要です。
- フッキング信号を送出することにより利用できるサービスについてはお買い求めの販売店におたずねください。
- フッキングをキャッチホンモードで使用するか、再発信モードで使用するかを切り替えられます。詳しくはお買い求めの販売店におたずねください。

内線に関する機能

一斉呼び出し／グループ呼び出し

すべての内線電話機またはグループ分けされた内の1グループのすべての電話機に、一斉に呼びかけることができます。

1 待ち受け状態で^①通話を押します。

- 内線ダイヤルトーンが聞こえます。
- 通話ボタンが点灯します。

2 特番をダイヤルします。

- [グループ呼び出し]特番の初期値は“*”“0”です。

3 グループ番号をダイヤルします。

- 初期値“0”はすべての内線電話機に一斉に呼びかけます。
- 初期値“1～7”は、グループの内線電話機に一斉に呼びかけます。

4 「〇〇さん応答してください」のように呼びかけます。

Note

- 各呼び出しの対象となるボタン電話機は、あらかじめ主装置のデータ設定が必要です。詳しくはお買い求めの販売店におたずねください。

ちよつと言!

- グループ呼び出し対象として登録できるボタン電話機は、最大8グループです。
- この電話機は、他の電話機からの呼び出しに応答することはできません。

3 構内モードのさらに便利な使い方

構内放送

外部の放送設備を利用して、電話機から構内放送ができます。

構内放送する

1. 待ち受け状態で(通話)を押します。
 - 内線ダイヤルトーンが聞こえます。
 - 通話ボタンが赤に点灯します。
2. 構内放送特番をダイヤルします。
 - 初期値は"*" "9"です。
3. "0"または"1"をダイヤルします。
 - 0、1：一斉放送
4. 「〇〇さん応答してください」のように呼びかけます。
 - スピーカから呼びかけた音声が流れます。
 - 相手が応答すると通話ができます。
5. 放送を終わるときは、(切)を押して、電話機を充電台に戻します。

構内放送に応答する

1. 待ち受け状態で(通話)を押します。
 - 内線ダイヤルトーンが聞こえます。
 - 通話ボタンが赤に点灯します。
2. 構内放送応答特番をダイヤルします。
 - 初期値は"# "9"です。
3. "0"または"1"をダイヤルします。
 - 0、1：一斉放送の応答
 - 構内放送した人とつながり、通話できます。
4. 通話が終わったら(切)を押して、電話機を充電台に戻します。

Note



- 構内放送との接続は、お買い求めの販売店におたずねください。

内線ホットライン

ダイヤルしないで特定の内線電話機を呼び出すことができます。

1 待ち受け状態で(通話)を押します。

- 内線ダイヤルトーンが聞こえます。
- 通話ボタンが赤に点灯します。

2 設定された内線番号を自動的に呼び出します。

ちょっと一言!

- 内線ホットライン機能を使用するには、あらかじめ主装置のデータ設定が必要です。詳しくはお買い求めの販売店におたずねください。
- 内線ダイヤルトーンが聞こえている間にダイヤルすると、別の内線にかけることができます。

3 構内モードのさらに便利な使い方

構内モードで音声メールを利用する

音声メールの基本的な使い方については、主装置に添付の取扱説明書に詳しく記載されています。音声メールを使う前に、まず取扱説明書をご覧ください。

通話録音

外線との通話内容をメールボックスへ録音することができます。

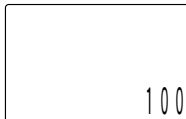
- 1 通話中に[通話録音]ボタンを押します。

- 録音開始音(ピー)が鳴ります。



- 2 メールボックス番号をダイヤルします。

- 録音先は(内線メールボックス)または(共通メールボックス)を指定できます。



- 3 通話が終わったら(切)を押して、電話機を充電台に戻します。

- 通話の途中で通話録音だけ終了させたいときは、[録音終了]ボタンを押してください。

Note



- 外線ボタンに[通話録音]ボタン、[録音終了]ボタンを割り付けるには、主装置のデータ設定が必要です。詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

通話録音中に保留する

通常の電話機と同じ操作で保留ができます。保留中は録音を一時停止し、保留を解除すると録音を再開します。

他の電話機で保留を解除したときは、保留までの通話録音は保留操作前に指定したメールボックスに録音されます。保留解除後、再度録音するときは、通話録音操作をしてください。

伝言録音

メールアドレスを指定して、そのメールアドレスに伝言メッセージを録音することができます。

- 1 電話機を充電台から取り上げて**（通話）**を押します。



・通話ボタンが赤に点灯します。

- 2 **〔通話録音〕**ボタンを押します。

・受話器からアナウンスがあります。

「メッセージを録音します。転送先メールアドレス番号を入力してください。」

- 3 メールボックス番号をダイヤルします。

・受話器からアナウンスがあります。

「メッセージをどうぞ。ピー」

・録音をはじめる合図、「ピー音」が聞こえます。

- 4 送話口からメッセージを録音します。

- 5 録音を終了する場合は“#”をダイヤルします。

・受話器からアナウンスがあります。

「ピー。メッセージを転送しました。」

- 6 録音が終わったら**（切）**を押して、電話機を充電台に戻します。

ちょっと一言！

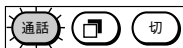
- 操作手順 5 で“*”をダイヤルすると録音を取消します。「メッセージを消去しました。」とアナウンスされます。

3 構内モードのさらに便利な使い方

メッセージ再生

自分あてのメールボックスに録音されているメッセージを聞き出し(再生)、そのメッセージを保存、または消去することができます。

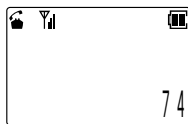
- 1 電話機を充電台から取り上げて(通話)を押します。



・通話ボタンが赤に点灯します。

- 2 [メールボックス番号指定]特番をダイヤルします。

・初期値は“74”です。



- 3 MBX番号(内線番号)をダイヤルします。

- ・パスワードを設定している場合は、「暗証番号を入力してください。」とアナウンスされます。
- ・パスワードを設定していない場合は、操作手順4のアナウンスがありますので、操作手順5を行います。

- 4 パスワードをダイヤルします。

・受話口からアナウンスがあります。

未聴取メッセージがある場合：

「新しいメッセージが××件あります。メッセージを再生します。」

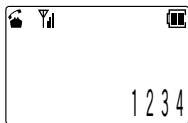
続いて、未聴取メッセージが自動再生されます。停止したい場合は“#”を押してください。

聴取済メッセージがある場合：

「保存されたメッセージが××件あります。サービス番号をどうぞ。」

メッセージがない場合：

「メッセージはありません。サービス番号をどうぞ。」



5 サービス番号をダイヤルします。

- メッセージが再生されます。
 - 5：次メッセージ再生
 - 7：メッセージ保存
 - 3：メッセージ消去

6 サービス番号“9”（終了）をダイヤルし、**切**を押して電話機を充電台に戻します。

ちょっと一言!

- パスワードの登録については、主装置に添付の取扱説明書に記載されています。
- メールにアクセスした場合のサービス番号については、主装置に添付の取扱説明書に記載されています。詳しくお知りになりたいときは、取扱説明書をご覧ください。

4 公衆モードの使い方

この電話機は、モードを公衆モードに切り替えるとPHSサービスをご利用になれます。PHSサービスをご利用になるには、PHS事業者と加入契約が必要です。

- PHSの加入契約はデジタルコードレス電話機ごとに必要です。契約の方法については、お買い求めの販売店におたずねください。

PHSサービスの利用

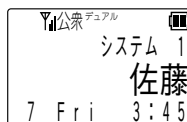
PHSサービスに加入すると、この電話機を屋外に持ち出して携帯電話のように電話をかけたり、受けたりすることができます。PHSサービスに加入すると、別途基本料金とPHSサービスの利用分の通話料金がかかります。

PHSサービスは、公衆基地局が設置されたサービスエリア内でのみご利用いただけます。詳しくはPHS事業者等へお問い合わせください。

PHSサービスを利用するモード

PHSサービスを利用するときはモードを「公衆モード」または「デュアルモード」に切り替えます。

- デュアルモードでお使いの場合は、公衆モードでお使いのときと比べて、電池の使用可能時間が短くなります。
- デュアルモードでは、PHSサービスエリア内で同時に構内で使える範囲にいるとき、公衆マークが表示されるとともに、ディスプレイ上段に構内システムの名称が表示されます。



PHSサービスを利用して警察(110)、消防(119)、海上保安庁(118)にかけるときは

- **立ち止まっておかけください。**
警察(110)、消防(119)、海上保安庁(118)へかけるときは、通話中にお話かとぎれることがないように、立ち止まってご利用ください。
- **通話終了後に電源を切らないでください。**
警察(110)、消防(119)、海上保安庁(118)からの呼び出しができなくなります。
- **PHSからの通話であることをお伝えください。**
警察(110)、消防(119)、海上保安庁(118)での対応がスムーズに行えるよう、PHSからの通話であることをお伝えください。
詳細は各PHS事業者にお問い合わせください。

PHSサービスで利用できる機能

電話帳ダイヤルで電話をかける。

構内モードのときと同じように利用できます。

再ダイヤルができる。

10件まで相手の方の電話番号を記憶できます。〈発信記録〉…(→83ページ)

相手の方に待っていただく。

相手の方にはピピという音が流れ、こちらの声は聞こえなくなります。

かけてきた方の電話番号を表示したり、かけ直す。

電話番号通知が設定された電話機からかかってきた電話のとき、相手の電話番号を記憶し、後でかけ直すことができます。〈着信記録〉…(→86ページ)

公衆モードを表示する。

- 公衆モードであることを、あらかじめ設定した文字や数字によってディスプレイに表示できます。
- PHSサービスエリア内に入ったことを音で通知します。

電話をかけるとき、お客さまご自身のPHSサービスの電話番号を相手の方のPHS電話機等に通知する。

この電話機には、自分の電話番号をかけた相手方の電話機等のディスプレイに表示させる機能があります。

ISDN端末等にサブアドレスを送る。

〈サブアドレスとは…〉

ISDN端末はふつうの電話番号に加えて端末独自の番号があります。この番号をサブアドレスといい、電話番号とサブアドレスをダイヤルすることで目的の端末だけを呼び出すことができます。公衆モードで電話をかける場合、この機能を利用することができます。

Note



- 電話番号を通知するには電話番号通知を設定する必要があります。〈電話番号通知〉…(→121ページ)
- PHSサービスエリア内に入ったことを知らせるためには設定操作が必要です。〈公衆圏内通知〉…(→120ページ)
- ISDN端末等にサブアドレスを送るためには設定操作が必要です。〈サブアドレス通知〉…(→119ページ)

4 公衆モードの使い方

構内でPHSサービスを利用する

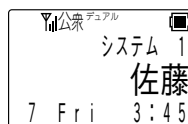
主装置に「PHSインタフェースユニット」を接続し、PHSデジタル回線を収容することにより、公衆基地局からの電波のとどかない構内でもPHSサービス(オフィスアンテナ)を利用することができます。(機種によって、この機能が使えません。販売店におたずねください。)

- オフィスアンテナを利用できる電話機はNTT DoCoMo に加入契約している電話機に限ります。オフィスアンテナについて、詳しくはNTT DoCoMo の窓口などにお問い合わせください。

オフィスアンテナのエリア内では

主装置に接続された基地局を介して、構内の内線電話機として外線や内線の通話とPHSサービスの両方が利用できます。

- 電話機がオフィスアンテナのエリア内に待ち受けているときは、公衆マークが表示されません。
- 外線や内線からの着信と同様に、PHS電話番号による着信も受けることができます。
- 発信するときは通常の一般の回線が優先されますが、PHSサービスを利用して発信することもできます。



Note

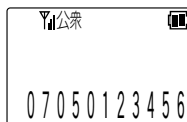


- オフィスアンテナは電話機で「オフィスアンテナ」の設定を行い、動作モードが公衆モードまたはデュアルモードのときご利用になれます。〈オフィスアンテナ〉…(→ 59ページ)
- 電話機が主装置の内線電話機として登録されていない場合は、公衆マークは表示されますが、ディスプレイ上段への構内システム名の表示は行われません。この場合はPHSサービスのみご利用になれます。
- 構内の接続装置がオフィスアンテナに対応していない場合は、オフィスアンテナによるPHSサービスはご利用になれません。

電話をかける

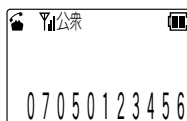
1 待ち受け状態で、相手の電話番号をダイヤルします。

- 電話番号が表示されます。

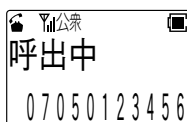


2 **通話** を押します。

- 表示されている電話番号がダイヤルされます。



3 しばらくすると相手呼び出している音が聞こえます。



4 相手が応答すれば通話できます。



5 通話を終わったら、**切** を押しください。

ちょっと一言!

- 待ち受け状態で**通話**を押してから相手の電話番号をダイヤルして電話をかけることもできます。
- ISDN端末にサブアドレスを送るには、電話番号とサブアドレスの間に**SP**をダイヤルします。
ISDN端末にサブアドレスを送るためには、ISDNサブアドレスを設定してください。
<サブアドレスとは…>…(→55ページ)
- 通話中にダイヤルを押すと、プッシュホンサービスをご利用になれます。

Note



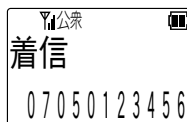
- 自動車電話・携帯電話とは違いますので、自動車などで高速移動中には使用できません。
- かける相手の方が市内であっても、市外局番からダイヤルしてください。


4 公衆モードの使い方

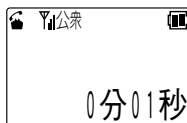
電話を受ける

1 待ち受け状態で電話がかかってくると、着信音が鳴ります。

- 相手の電話番号が通知されていると、相手の電話番号が表示されます。または相手の電話番号が電話機の電話帳に登録されている場合、相手の名前が表示されます。



2  を押します。



3 電話をかけてきた相手と通話できます。

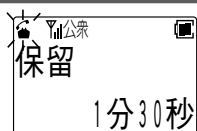
Note

- この電話機のモードが異なっていたり電源を切っていると、電話がかかっても受けられません。

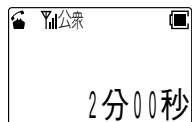
通話の保留

1 通話中に  を押します。


- 相手の方には保留音が流れ、こちらの声は聞こえなくなります。



2 通話に戻るには  または  を押します。

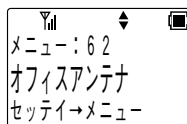


Note

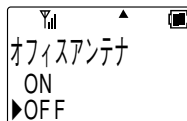
- 公衆モードで保留中に  を押したり、クイック通話が設定されていて保留中に電話機を充電器に置くと、通話が切れてしまいますのでご注意ください。
<クイック通話>…(→116ページ)

オフィスアンテナを設定する

1 待ち受け状態で、**保留** **6** **ABC** の順に押し「オフィスアンテナ」を表示させます。



2 **保留** を押します。

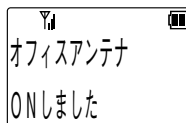


3 **▼** または **▲** を押し「オフィスアンテナ」の「ON/OFF」を選択します。

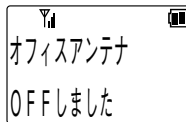
4 **保留** を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

設定した場合



解除した場合



Note

- 「オフィスアンテナ」の表示はPHS事業者とご契約されていないと表示されません。
- オフィスアンテナを設定(ON)してお使いの場合は、圏外時の電池の消費が多くなります。

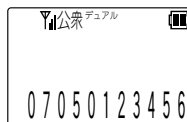
4 公衆モードの使い方

PHSサービスを利用して電話をかける

デュアルモードでPHSサービスエリア内で同時に構内で使える範囲にいるとき、PHSサービスを選択して電話をかけることができます。

1 待ち受け状態で、相手の電話番号をダイヤルします。

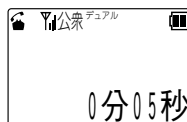
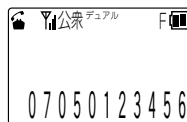
- 電話番号が表示されます。



2 (機能) を押します。

3 (通話) を押します。

- 表示されている電話番号がPHSサービスを利用してダイヤルされます。



ちょっと一言!

- PHSサービスを利用して電話をかけるときは、必ず市外局番からダイヤルしてください。

5 トランシーバモードの使い方

トランシーバモードでは、同一の主装置に収容されたデジタルコードレス電話機どうしで、基地局や主装置を介さずに通話ができます。また、トランシーバグループ登録をすることで、同じ主装置に収容されていないデジタルコードレス電話機どうしでも通話ができるようになります。

例えば、基地局の電波の届かないサービスエリア外であるとか、サービスエリア内でも基地局の無線チャンネルが一杯で普通には通話のできない場合にも、デジタルコードレス電話機どうしで通話をすることができます。

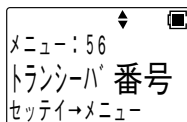
Note

- トランシーバモードで通話ができるのは2台ずつ1組です。同時に3人で会議通話のようなことはできません。
- トランシーバモードで通話をしている組が多い場合には、無線チャンネルが一杯で新たに通話できない場合もあります。
- トランシーバモードで通話ができるのは、半径約100mの範囲です。ただし間に障害物などがある場合など、周囲の状況によってはもっと短くなることがあります。
- 通話中、約3分ごとに約3秒間通話が途切れますが異常ではありません。通話が途切れる約20秒前にブーという予告音が受話口から聞こえます。また通話が途切れている間は、ブーブー..ブーブー..という音が受話口から聞こえます。
- 電波状態の悪いところでお使いの場合は、まれに通話の途切れ目で切れてしまうことがあります。このときは再度呼び出してください。

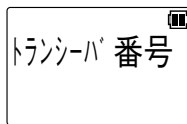
トランシーバモードの番号を設定する

トランシーバモードの電話番号として、1桁から4桁の数字で1から7999までのどれか1つをこの電話機で設定することができます(8000から9999までの数字は使えません)。

- 1 待ち受け状態で、**保留** **5** **6** の順に押し
て「トランシーバ番号」を表示させます。



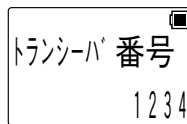
- 2 **保留** を押します。



- 3 設定したいトランシーバモードの電話番号をダイヤルで押します。

・必ず1から7999までの数字を入れてください。

【例】1234の番号を設定するとき



1 はじめに

2 準備

3 に構内モード

4 に公衆モード

5 モードについて

6 にさらに便利は利

7 ご参考に

5 トランシーバモードの使い方

4 を押します。

- 正常に設定されたときはピピという音がして待ち受け状態に戻ります。
- 8000以上の番号を入れるなど正常に設定できなかったときには、ピピピピピという音がして番号入力待ちの状態に戻ります。このときは手順3から操作をやり直してください。

トランシーバ 番号
設定しました

ちょっと一言!

- 設定されたトランシーバモードの電話番号は<電話番号の確認>(→24ページ)で確認できます。

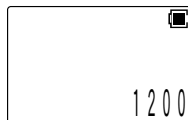
Note

- 2つ以上の電話機に同じ番号を設定すると正常に呼び出しできないことがあります。絶対に同じ番号を設定しないでください。
- 弊社製の電話機以外の電話機とは通話できません。

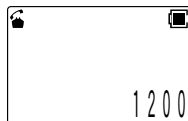
電話をかける

1 待ち受け状態から、相手のトランシーバモードの電話番号をダイヤルします。

【例】1200番の人に電話するとき

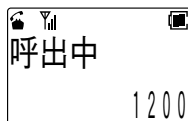


2 を押します。

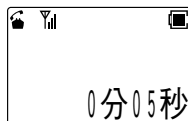


3 しばらくすると受話口から呼び出し音が聞こえます。

- 相手に着信音が鳴ると、こちらに呼び出し音が聞こえます。



4 相手が応答すれば通話ができます。



5 通話が終わったら(切)を押して切ってください。

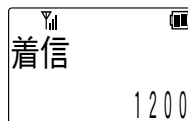
Note

- 待ち受け状態で(通話)を押してから相手の電話番号をダイヤルして電話をかけることもできます。

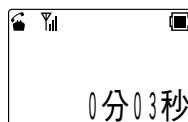
電話を受ける

1 相手から呼び出しを受けると、着信音がなります。

【例】1200番の人から電話がかかってきたとき



2 (通話)を押します。



3 相手と通話ができます。

4 通話が終わったら(切)を押して切ってください。

5 トランシーバモードの使い方

トランシーバグループ登録

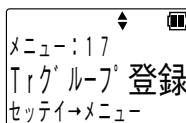
トランシーバグループ登録をすることで、同じ主装置に収容されていないデジタルコードレス電話機どうしでもトランシーバ通話ができるようになります。

トランシーバグループ登録では、送信側の電話機から受信側の電話機にトランシーバグループのデータが転送されます。

また、以下の操作ではあらかじめトランシーバモードにしておく必要があります。

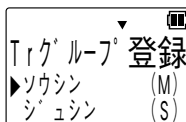
トランシーバグループ登録を行う

- 1 待ち受け状態で、**[保留]** **[1]** **[7^{PM}ORS]**の順に押し、**[Trグループ登録]**を表示させます。

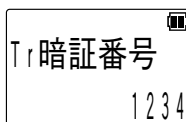


- 2 **[保留]**を押します。

- 3 **[▼]**または**[▲]**を押して「ソウシン/ジュシン」を選択し、**[保留]**を押します。

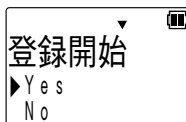


- 4 送信側と受信側で同じ暗証番号4桁(0000~9999)を入力します。



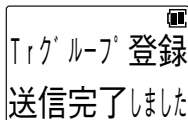
- 5 **[▼]**または**[▲]**を押して登録開始の「Yes/No」を選択し、**[保留]**を押します。

- 登録を開始する**[保留]**を押すときは、送信側と受信側でなるべく同時(5秒以内)に操作してください。

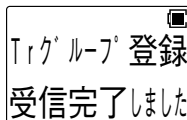


- 6 登録が完了したら、**[切]**を押して、待ち受け状態に戻ります。

送信側

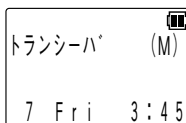


受信側

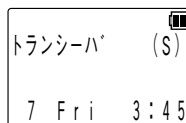


- グループ登録を行うとディスプレイ上段に送信側は(M)を受信側は(S)を表示します。
- 登録に失敗したときは、手順1からやり直してください。

送信側

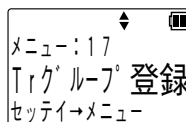


受信側

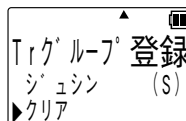


トランシーバグループ登録を解除する

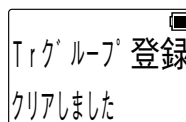
1 待ち受け状態で、 の順に押して「Trグループ登録」を表示させます。



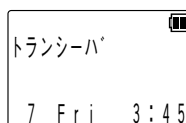
2 を押します。



3 または を押して「クリア」を選択し、 を押します。



4 トランシーバグループ登録が解除され待ち受け状態に戻ります。



Note

- トランシーバグループ登録を行うと、同一のグループ以外の電話機とはトランシーバ通話ができなくなります。
- 3台以上でグループ登録を行うときは、送信側を特定の1台にして、残りを受信側にして登録してください。

1 はじめに

2 準備

3 構内モード

4 公衆モード

5 トランシーバ

6 さらに便利

7 参考に

6 各モード共通のさらに便利な使い方

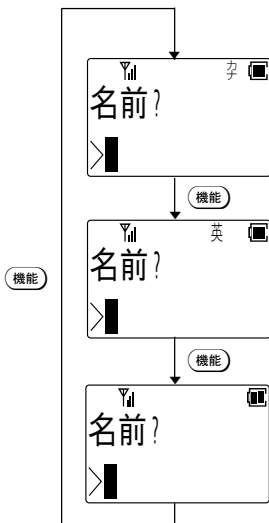
文字を入力する

文字入力のしかた

文字入力時には、「漢字」「ひらがな」「カタカナ」「英字」「数字」「絵文字」「記号」を入力することができます。(機能)を押して入力モードを選択し、ダイヤルボタンで希望する文字を表示させて入力します。

1 (機能)を押して入力モードを選択します。

- カタカナモード
漢字、ひらがな及びカタカナを入力することができます。
- 英字モード
英字、絵文字及び記号を入力することができます。
- 数字モード
数字を入力することができます。

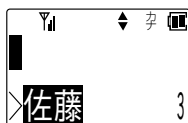
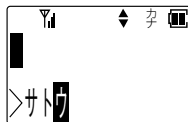


2 文字を入力します。

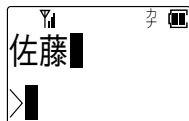
カタカナモードの場合

【例】「佐藤」と入力する場合

1. (3)を1回、(4)を5回、(1)を3回押します。
 - カタカナを入力したい場合は(保)を押します。
2. (▼)または(▲)で文字を変換します。
 - (▼)を押していくと、漢字→全角カタカナ→半角カタカナ→全角ひらがなの順に変換されます。
 - (▲)を押していくと、漢字→全角ひらがな→半角カタカナ→全角カタカナの順に変換されます。
 - 残り候補数が右端に表示されます。
 - 入力したい文字に変換できない場合は、(※)または(※)で変換対象を漢字1文字分にしたたり、濁点や半濁点をはずしたり、読み方を変えて(音読み/訓読み)入力し直してください。



- 入力したい文字が表示されたら **保留** を押し
ます。
• 確定された文字が上段に移動します。



英字モードの場合

【例】「SATO」と入力する場合

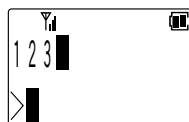
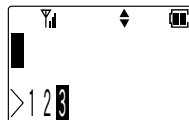
- 7** (S) を4回、**2** (A) を1回、**8** (T) を1回、**6** (O) を3回押します。
- 保留** を押し
ます。
• 確定された文字が上段に移動します。



数字モードの場合

【例】「123」と入力する場合

- 1** (1) **2** (2) **3** (3) の順に押します。
- 保留** を押し
ます。
• 確定された文字が上段に移動します。



ちょっと一言!

- 文字入力は文字が割り当てられているボタンを、入力したい文字が表示されるまで押してください。
入力したい文字が表示されたら、別のボタンを押すか **保留** を押してください。
続けて同じボタン上の文字を入力するときは、**保留** を押してカーソルを移動させてください。
- 文字入力を間違えたときは、**削除** を押してください。カーソルの位置の1文字が削除され、後ろの文字が詰められます。また、**削除** を1秒以上押し続けることで全桁削除することができます。
- 入力文字を修正したいときは、**左移動** または **右移動** を押してカーソルを修正したい桁まで移動し、再度入力してください。
- 文字入力はカーソル位置への挿入となります。ただし、入力桁数を超えた場合は最後尾から削除されます。

6 各モード共通のさらに便利な使い方

- 文字を入力するときのカタカナ／英字／数字の各モードでの入力キーは以下の通りです。


ボタン	カタカナモード	英字モード	数字モード
① ^ア	アイウエオアイウエオ	田 ㇿ ㇿ ㇿ ㇿ ㇿ	1
② ^カ	カキクケコ	ABCabc	2
③ ^サ	サシスセソ	DEFdef	3
④ ^タ	タチツテトツ	GHIghi	4
⑤ ^ナ	ナニヌネノ	JKLjkl	5
⑥ ^ハ	ハヒフヘホ	MNOmno	6
⑦ ^マ	マミムメモ	PQRSpqrs	7
⑧ ^ヤ	ヤユヨヤユヨ	TUVtuv	8
⑨ ^ラ	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
⑩ ^ワ	ワラン*°ー！？(空白)	-·&/□#*(空白)	0
⌘ [←]	カーソルを左に		
⌘ [→]	カーソルを右に		
機能	英字モードにシフト	数字モードにシフト	カタカナモードにシフト
□	1文字削除		
□ 1秒	全文字削除		

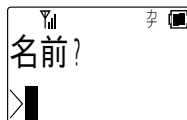
電話帳ダイヤルでかける

電話帳ダイヤルに登録する

電話帳には500件の電話番号が登録できます。1件あたり、名前12文字(漢字6文字)、読み仮名6文字、ダイヤル24桁まで入力することができます。また、グループ(0~9)を選択することによりグループ登録を行うことができます。

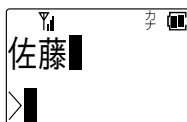
1 待ち受け状態で、 の順に押しします。

- 名前入力画面が表示されます。
- を1秒以上押すことでも同様の操作となります。



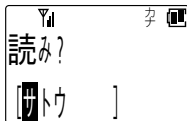
2 登録する相手の名前を入力します。

- 「文字を入力する」を参照してください。
<文字を入力する>…(→66ページ)



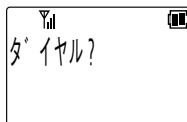
3 を押します。

- 読み仮名入力画面が表示されます。
- 読み仮名は名前入力時に入力された6文字までがそのまま表示されます。
- 修正する必要があるときは読み仮名を修正します。
「文字を入力する」を参照してください。
<文字を入力する>…(→66ページ)



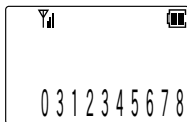
4 登録する相手の読み仮名を確認しを押します。

- 電話番号入力画面が表示されます。



5 登録する相手の電話番号を入力します。

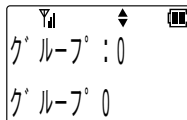
- 入力されたダイヤルが右下から順に表示されます。





6 各モード共通のさらに便利な使い方

6 を押します。

- グループ選択画面が表示されます。

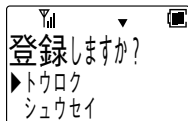


7 またはでグループを選択します。

- ～を押すことでグループの選択を行うこともできます。

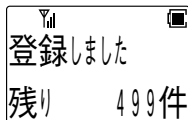
8 を押します。

- 登録確認画面が表示されます。



9 またはで項目を選択し、を押します。







- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、手順2に戻ります。
- 「シュウセイ」を選択した場合は、登録は行わず手順2に戻ります。



Note

- PBXなどの交換機に接続した外線に発信するときは、電話番号の前に外線発信番号とポーズの入力(→70ページ)が必要となる場合があります。

ちょっと一言!

- 読み仮名には、「カタカナ」「英字」「数字」「絵文字」「記号」が入力できます。
- 電話番号の入力を間違えたときは、を押して下さい。最後の桁から1桁ずつ削除されます。また、を1秒以上押し続けることで全桁削除することができます。
- 入力データ(下段)が何もないときにを押すと前画面に戻ることができます。
- 電話番号にはポーズも登録することができます。
 1. ポーズの登録は、に続けてポーズ時間を秒単位の数字1桁(1~9)で入力します。ただし、先頭にポーズを登録しても無効となります。
 2. 複数のポーズを続けて登録することができます。
 3. ポーズは1つでダイヤル2桁分に数えます。
- 電話番号にはリモートダイヤルも登録することができます。
 1. リモートダイヤルの登録は、に続けて数字「0」(ポーズ0)を入力します。
 2. リモートダイヤルの操作は、電話帳ダイヤルで電話をかけた後、を押すとポーズ0以降のダイヤルが送出されます。
- 電話帳には読み仮名または電話番号のどちらかが設定されていなければ登録できません。




- 電話帳グループにはグループ名を登録することができます。
<電話帳グループの名前を設定する>…(→79ページ)
- すでに500件登録されている状態で電話帳ダイヤル登録操作を行ったときは、ピピピピという警告音が鳴り「登録できません 残り 0件」が表示されて、約2秒後に待ち受け状態に戻ります。

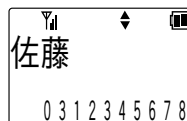
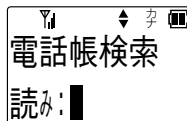
電話帳ダイヤルでかける

電話帳には500件の電話番号が登録できます。50音順、読み仮名または電話帳グループのいずれかで、登録された電話番号を検索した後、電話をかけることができます。



1 電話帳から発信する電話番号を検索します。

50音順検索の場合

1. 待ち受け状態で、を押します。
2. 目的の電話帳ダイヤルが見つかるまで、またはを押します。
 - 検索順序は次の通りです。
 - ①読み仮名なし
 - ②絵文字(田、■、□、■、E、♥)
 - ③空白(スペース)
 - ④記号(!、#、&、*、-、/、?)
 - ⑤数字(0~9)
 - ⑥英字(A~Z、[,], a~z)
 - ⑦カタカナ(・、ヲ、ア〜ツ、ア〜ン、ゝ、°)



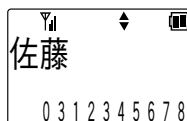
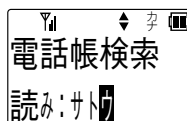
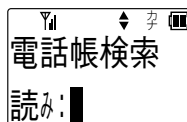
ちよつと言!

- 電話帳ダイヤル検索中に、～を押すことでア行～ワ行で始まる読み仮名を検索表示します。

6 各モード共通のさらに便利な使い方

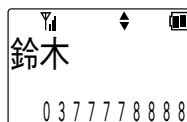
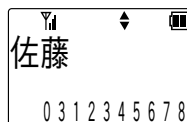
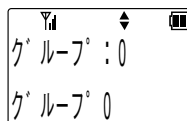
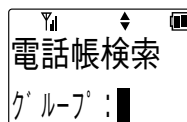
読み仮名検索の場合

1. 待ち受け状態で、を押します。
2. 検索したい読み仮名を入力します。
 - を押して入力モードを選択してください。
 - 入力できる読み仮名は6文字までです。
3. またはを押します。

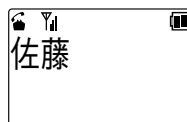


電話帳グループ検索の場合

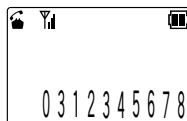
1. 待ち受け状態で、を続けて2回押します。
 - もう一度を押すと待ち受け状態に戻ります。
2. 目的のグループが見つかるまで、またはを押します。
 - ～を押すことでグループの選択を行うこともできます。
3. を押します。
4. またはを押します。
 - 選択したグループ内の電話帳ダイヤルが表示されます。



2. を押します。
 - 検索した電話番号がダイヤルされます。



3 しばらくすると相手呼び出している音が聞こえます。



4 相手が応答すれば、通話ができます。

Note

- 名前のみ登録されている内容を読み出した状態で(通話)を押しても操作は無視されます。
- 電話帳ダイヤルに1件も登録していないときは、(☎)を押しても操作は無視されません。

ちょっと一言!

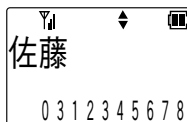
- どの検索方法の場合でも、検索中に(▼)または(▲)を1秒以上押し続けると、押し続けている間はディスプレイの表示がスクロールします。
- 構内モードで外線に電話をかけるときは、手順2で外線ボタンを押して外線を捕捉する必要があります。
- 読み仮名の入力を間違えたときは、(☒)を押してください。カーソルの位置の1文字が削除され、後ろの文字が詰められます。また、(☒)を1秒以上押し続けることで全桁削除することができます。
- 読み仮名検索の場合で、入力した読み仮名の登録が無い場合は、その近くのデータを表示します。
- 電話帳グループ検索の場合、登録が1件もないグループは表示されません。
- 電話帳ロックを設定しているときは電話帳は使えません。設定を解除してください。<電話帳ロック>…(→109ページ)

6 各モード共通のさらに便利な使い方

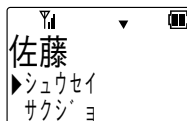
電話帳ダイヤルを修正する

50音順、読み仮名または電話帳グループのいずれかで、登録された電話番号を検索した後、電話帳ダイヤルを修正することができます。

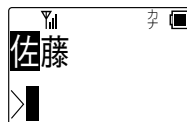
- 1 変更したいデータを電話帳検索を行って、ディスプレイに表示します。



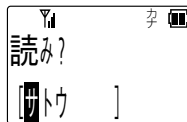
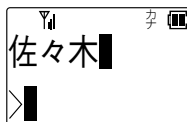
- 2 **保留** を押します。



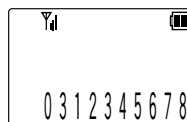
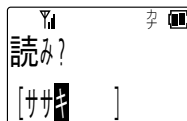
- 3 **▼** または **▲** を押して「シュウセイ」を選択し、**保留** を押します。
・名前修正画面が表示されます。

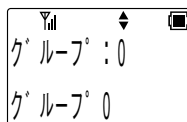
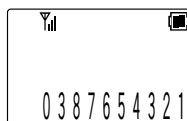
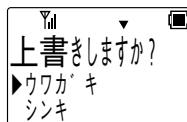
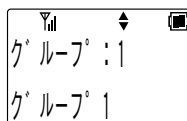




- 4 名前を修正し **保留** を押します。
【例】「佐藤」を「佐々木」に修正する場合
・文字の修正方法は「文字を入力する」を参照してください。
<文字を入力する> …(→66ページ)



- 5 読み仮名を修正し **保留** を押します。

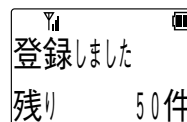


6 電話番号を修正し  を押します。7 グループを選択し  を押します。8  または  を押して「ウワガキ／シンキ／シュウセイ」を選択します。

- 「ウワガキ」を選択した場合は、元の電話帳データの上書きとなります。
- 「シンキ」を選択した場合は、元の電話帳データは修正せずに新規の登録になります。
- 「シュウセイ」を選択した場合は、登録は行わず手順4に戻ります。

9  を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



ちよつと言!

- 「シンキ」を選択した場合で、すでに500件登録されている場合は、ピピピピピという警告音が鳴り「登録できません 残り 0件」が表示されて、約2秒後に「上書きしますか?」の表示に戻ります。

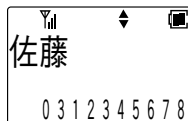
6 各モード共通のさらに便利な使い方

電話帳ダイヤルを削除する

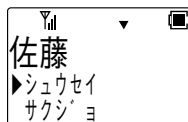
50音順、読み仮名または電話帳グループのいずれかで、登録された電話番号を検索した後、電話帳ダイヤルを削除することができます。また、電話帳ダイヤルの全データを消去することもできます。

登録されたデータの削除

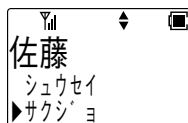
- 1 削除したいデータを電話帳検索を行ってディスプレイに表示します。



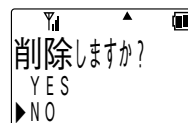
- 2 **保留** を押します。



- 3 **▼** または **▲** を押して「サクジヨ」を選択します。



- 4 **保留** を押します。

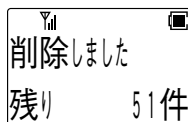


- 5 **▼** または **▲** を押して「YES/NO」を選択します。

- 6 **保留** を押します。

- ・「YES」を選択した場合は、ピピという確認音が鳴り内容が削除され、待ち受け状態に戻ります。

削除した場合



- 「NO」を選択した場合は、データの削除は中止され、待ち受け状態に戻ります。

登録された全データの消去

1 待ち受け状態で、**保留** **2** **カ** **3** の順に押し、「電話帳全消去」を表示させます。

2 **保留** を押します。

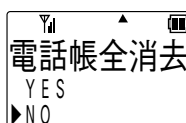
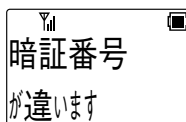
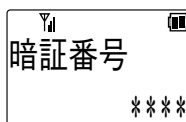
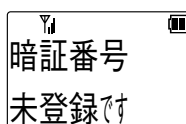
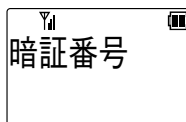
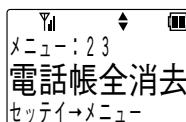
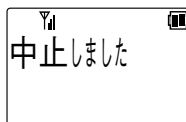
- 暗証番号が登録されていないときはピピピピピという警告音が鳴り、電話帳全消去をすることはできません。

3 登録されている暗証番号4桁を入力します。

- 登録されている暗証番号と入力暗証番号が違うときには、ピピピピピという警告音が鳴ります。

4 **▼** または **▲** を押して「YES/NO」を選択します。

中止した場合



1 はじめに

2 準備

3 構内モード

4 公衆モード

5 トランシーブ

6 さらに便利に

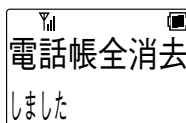
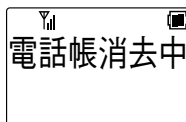
7 参考に

6 各モード共通のさらに便利な使い方

5 を押します。

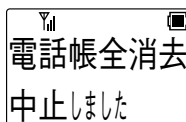
- 「YES」を選択した場合は、「電話帳消去中」表示となり、しばらくしたらピピという確認音が鳴り、電話帳ダイヤルの全データが消去され、待ち受け状態に戻ります。

消去した場合



- 「NO」を選択した場合は、電話帳全消去は中止され、待ち受け状態に戻ります。

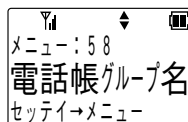
中止した場合



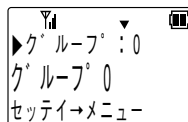
電話帳グループの名前を設定する

電話帳グループ(0~9)に名前を設定することができます。名前は、12文字(漢字6文字)まで入力できます。

- 1 待ち受け状態で、**保留** **5** **ナ** **8** **ヤ** の順に押し
して「電話帳グループ名」を表示させま
す。

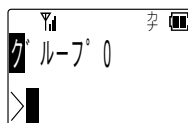


- 2 **保留** を押します。



- 3 **▼** または **▲** を押してグループを選択
します。

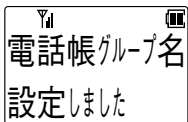
- 4 **保留** を押します。



- 5 グループ名を修正し**保留**を押します。
 - 文字の修正方法は「文字を入力する」を参照し
てください。
<文字を入力する> …(→66ページ)



- 登録が正常に終了するとピピという確認音が
鳴り、待ち受け状態に戻ります。



1 はじめに

2 準備

3 構内モード

4 公衆モード

5 トランシーブ

6 さらに便利

7 ご参考に

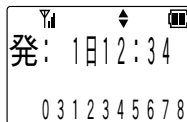
6 各モード共通のさらに便利な使い方


発信記録や着信記録の電話番号を登録する

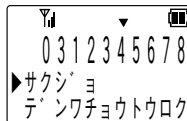
発信記録や着信記録の電話番号を電話帳ダイヤルに登録することができます。



- 1 登録したい発信記録または着信記録のデータをディスプレイに表示します。

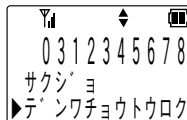
- ・<発信記録>…(→83ページ)
- ・<着信記録>…(→86ページ)




- 2  を押します。



- 3  または  を押して「デンワチョウトウロク」を選択します。

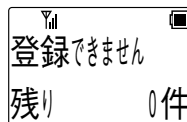


- 4  を押します。

- ・名前入力画面が表示されます。
- ・以降の操作は電話帳ダイヤルへの登録と同じです。
 <電話帳ダイヤルに登録する> …(→69ページ)



- ・すでに500件登録されている場合にはピピピピという警告音が鳴り、ディスプレイに表示が出て待ち受け状態に戻ります。



電話番号を組み合わせてかける

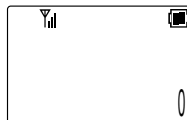
[外線発信]特番などと電話帳ダイヤルを組み合わせて発信することができます。

電話番号を組み合わせて発信する

【例】外線発信番号“0”と電話帳ダイヤルを組み合合わせます。

- 1 組み合わせたいダイヤルのはじめの番号 **0** を押します。

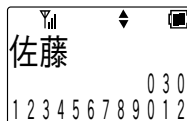
【例】0



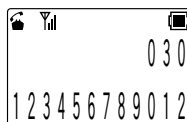
- 2  を押します。

- 3 組み合わせたいデータを検索し表示します。

- 電話帳の検索方法は「電話帳ダイヤルでかける」を参照してください。
 <電話帳ダイヤルでかける>…(→71ページ)



- 4  を押します。(発信)



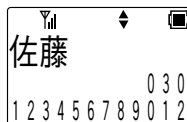
追加ダイヤルを組み合わせて発信する

【例】電話帳ダイヤルのあとにサブアドレスダイヤル“*201”を追加します。


- 1  を押します。

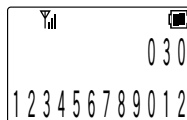
- 2 組み合わせたいデータを検索し表示させます。

- 電話帳の検索方法は「電話帳ダイヤルでかける」を参照してください。
 <電話帳ダイヤルでかける>…(→71ページ)

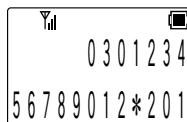



6 各モード共通のさらに便利な使い方

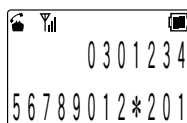
- 3 を押します。
•この後に押されたダイヤルが追加されます。



- 4    を押します。



- 5 を押します。(発信)



前に電話をかけた相手に再びかける(発信記録)

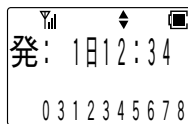
かけた相手に再びかける

こちらからかけた電話番号の最後の10件を記録し、その電話番号に電話をかけることができます。

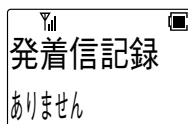
電話番号は1件につき24桁まで記録できます。

1 待ち受け状態で、を押します。

- 発信記録が一件も記録されていない場合は、着信記録の表示となります。
<着信記録>…(→86ページ)

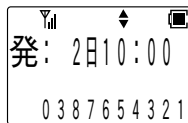


- 発信記録と着信記録が一件も記録されていない場合は、ディスプレイに表示が出て、待ち受け状態に戻ります。



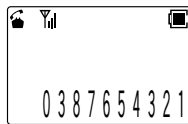
2 または を押してかけたい相手を選択します。

- 発信記録の最大10件分が連続して表示されます。



3 を押します。


- 表示されている電話番号がダイヤルされます。



Note

- 発信記録の電話番号は電源を切っても消えません。

ちょっと一言!

- 構内モードで外線に電話をかけるときは、手順1で外線ボタンを押して外線を捕捉する必要があります。
- かけた電話番号が電話帳に登録されている場合は名前が表示されます。
- 発信記録を表示中にを押すと着信記録の表示に変わります。
- 同じ相手への電話は最新の1件だけが記録されます。
- 最も新しい発信記録から順に表示されます。

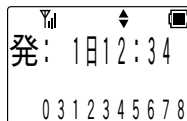
6 各モード共通のさらに便利な使い方

発信記録を削除する

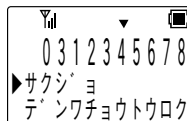
発信記録を検索した後削除することができます。また、発信記録の全データを削除することもできます。

記録されたデータの削除

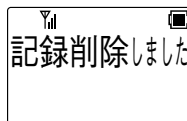
- 1 削除したい発信記録をディスプレイに表示します。



- 2 **保留** を押します。
 ・「サクジヨ」が選択されていることを確認します。

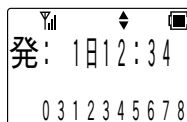


- 3 **保留** を押します。
 ・削除が完了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

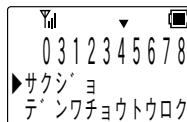


記録された全データの削除

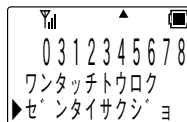
- 1 発信記録をディスプレイに表示します。



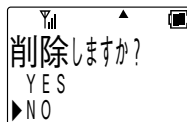
- 2 **保留** を押します。





- 3 **▼** または **▲** で「ゼンタイサクジヨ」を選択します。



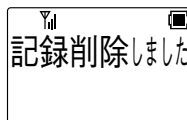
4 を押します。



5 またはを押して「YES/NO」を選択します。

6 を押します。

- 「YES」を選択した場合は、ビピという確認音が鳴り、発信記録の全データが削除され、待ち受け状態に戻ります。
- 「NO」を選択した場合は、データの削除は中止され、待ち受け状態に戻ります。



6 各モード共通のさらに便利な使い方

電話をかけてきた相手にこちらからかける(着信記録)

かけてきた相手にこちらからかける

電話がかかってきたときに、電話番号が通知されている場合は、その電話番号を記録します。

記録件数は最新の10件です。

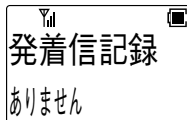
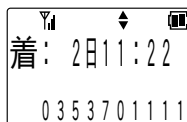
電話番号は1件につき24桁まで記録できます。

1 待ち受け状態で、を押します。

- 発信記録が記録されている場合は、発信記録の表示となります。

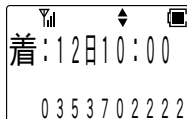
この場合は、もう一度を押して下さい。

- 発信記録と着信記録が一件も記録されていない場合は、ディスプレイに表示が出て、待ち受け状態に戻ります。



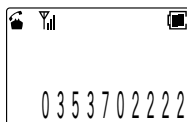
2 または でかけたい相手を選択します。

- 着信記録の最大10件分が連続して表示されます。





3 を押します。

- 表示されている電話番号がダイヤルされます。



Note

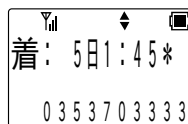
- 着信記録の電話番号は電源を切っても消えません。
- 同時に二つ以上の電話がかかってきたときにどれかの電話に回答した場合、回答していない電話の着信記録に[*]は表示されず、マークも表示されません。
- お話中に電話がかかってきて、直接外線ボタンを押し換えて回答した場合、その電話の着信記録には[*]は表示され、マークも表示されます。

ちょっと一言!

- 電話番号が通知されている電話がかかってきた場合に、電話に出られなかったときは、待ち受け状態で📞マークが表示されます。



- 電話に出られなかった着信の着信記録の表示には、時刻の右側に「*」が表示されます。



- 発サブアドレスが通知されている場合には、発サブアドレスも記録されます。(区切り文字は「*」です。)
- 構内モードで外線に電話をかけるときは、手順1で外線ボタンを押して外線を捕捉する必要があります。
- 通知された電話番号が電話帳に登録されている場合は名前が表示されます。
- 着信記録を表示中に(□)を押すと発信記録の表示に変わります。
- 同じ相手からの電話は、最新の1件だけが記録されます。
- 最も新しい着信記録から順に表示されます。

1 はじめに

2 準備

3 構内モード

4 公衆モード

5 モトランシーブ

6 さらに便利に使うには

7 ご参考に

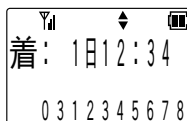
6 各モード共通のさらに便利な使い方

着信記録を削除する

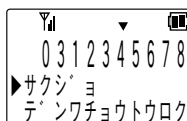
着信記録を検索した後に削除することができます。また、着信記録の全データを削除することもできます。

記録されたデータの削除

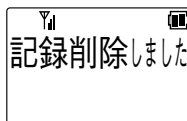
- 1 削除したい着信記録をディスプレイに表示します。



- 2 **保留** を押します。
 - 「サクジョ」が選択されていることを確認します。

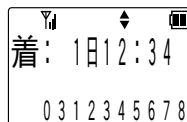


- 3 **保留** を押します。
 - 削除が完了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

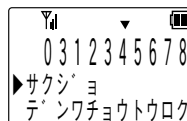


記録された全データの削除

- 1 着信記録をディスプレイに表示します。



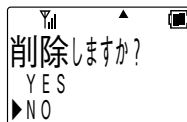
- 2 **保留** を押します。





- 3 **▼** または **▲** を押して「ゼンタイサクジョ」を選択します。



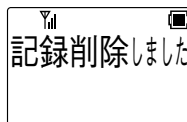
4 を押します。



5 またはを押して「YES/NO」を選択します。

6 を押します。

- 「YES」を選択した場合は、ピピという確認音が鳴り、着信記録の全データが削除され、待ち受け状態に戻ります。
- 「NO」を選択した場合は、データの削除は中止され、待ち受け状態に戻ります。



6 各モード共通のさらに便利な使い方

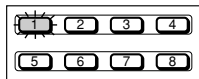
ワンタッチボタンでかける

外線ボタンなどにワンタッチボタン機能を割り付けた場合、ダイヤルや(通話)などを24桁まで登録することができ、ワンタッチ操作で電話をかけることができます。

ワンタッチボタンで電話をかける

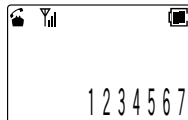
- 1 待ち受け状態からワンタッチボタン(5)を押します。

- 外線ボタンが緑に点灯します。
- しばらくすると相手を呼び出している音が聞こえます。



【例】

- 1 …外線
- 5 …ワンタッチ



- 2 相手が応答したら、通話できます。

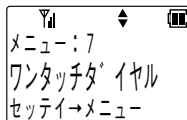
ちよつと一言!

- 外線ボタンをワンタッチボタンとしてお使いになるためには、あらかじめ電話機のデータ設定が必要です。詳しくはお買い求めの販売店にご相談ください。
- (機能)0(設定)～(機能)9(設定)は、あらかじめワンタッチボタンとして定義されています。
- 構内モードで外線にかけると、相手の電話番号の前に外線アクセス番号または外線グループアクセス番号を登録しておく必要があります。

電話番号を登録する

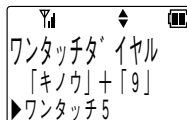
- 1 待ち受け状態で、**保留**(7) **PPX ORS**の順に押しま

す。



- 2 **保留**を押します。

- ワンタッチ登録可能なキー名称が表示されます。
- すでに電話番号が登録されているキーは、キー名称の右側に*が表示されます。



3 電話番号を登録するワンタッチボタンを

▼または▲で選択し、**保留**を押します。

- 「イヤホンマイク」を選択すると、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチに電話番号を登録することができます。

<スイッチ付イヤホンマイクを使う>

…(→113ページ)

4 登録する相手の名前を入力します。

- 文字の入力方法は「文字を入力する」を参照してください。

<文字を入力する>…(→66ページ)

- 名前を登録しない時は手順5に進みます。

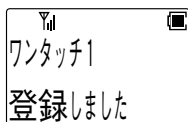
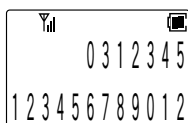
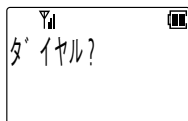
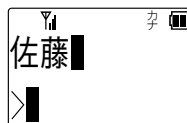
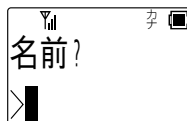
5 **保留**を押します。

6 登録する相手の電話番号を入力します。

- 入力されたダイヤルが右下から順に表示されます。

7 **保留**を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



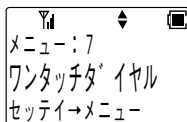
ちよつと一言!

- ワンタッチダイヤルにはポーズおよび**通話**を登録することができます。
- ワンタッチボタンを押すだけで電話をかけるには、相手の電話番号の後に**通話**を登録する必要があります。
- ポーズの登録は**機能保留**に続けてポーズ時間を秒単位の数字1桁(1~9)で入力します。
- ポーズ時間は1つのポーズで1~9秒です。それ以上のポーズ時間を必要とするときは、続けて複数のポーズを登録してください。
- 電話番号にはリモートダイヤルも登録することができます。
 1. リモートダイヤルの登録は、**機能保留**に続けて数字「0」(ポーズ0)を入力します。
 2. リモートダイヤルを登録すると、ワンタッチダイヤルで電話をかけた後、**通話**を押すことによりポーズ0以降のダイヤルを送出します。

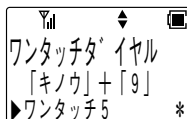
6 各モード共通のさらに便利な使い方

登録した名前や電話番号を修正する

1 待ち受け状態で、**保留** (7 PPS ORS) の順に押し
ます。

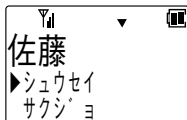
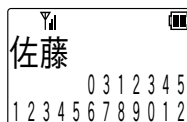


2 **保留** を押し
ます。



3 修正するワンタッチボタンを **▼** または
▲ で選択し、**保留** を押し
ます。

- すでに電話番号が登録されている場合は、その内容が表示されます。
- 2秒経過後または**保留**を押すと、表示が切り替わります。



4 **▼** または **▲** を押して「シュウセイ」を
選択し**保留** を押し
ます。

- 名前修正画面が表示されます。



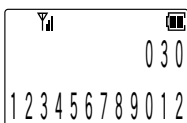
5 名前を修正し**保留** を押し
ます。

- 文字の修正方法は「文字を入力する」を参照してください。
<文字を入力する>…(→66ページ)
- 名前を修正しない場合は、手順6に移ってください。



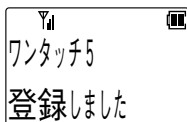
6 電話番号を修正し
ます。

- 電話番号を修正しない場合は、手順7へ移ってください。



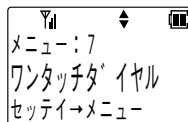
7 **保留** を押し
ます。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

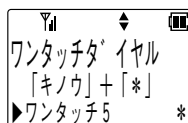


登録した電話番号を削除する

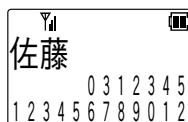
- 1 待ち受け状態で、 の順に押し
ます。



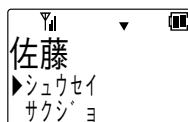
- 2 を押し
ます。



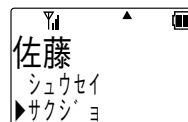
- 3 電話番号を削除するワンタッチボタ
ンを または で選
択し、 を押し
ます。



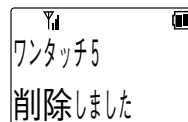
- 2秒経過後または を押すと、表示が切り替
わります。



- 4 または を押し
て「サクジヨ」を選
択し、 を押し
ます。



- 削除が正常に終了すると「ピピ」という確認音
が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



1 はじめに

2 準備

3 構内モード

4 公衆モード

5 モトランシーブ

6 さらに便利

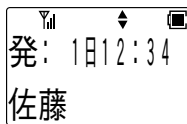
7 ご参考に


6 各モード共通のさらに便利な使い方

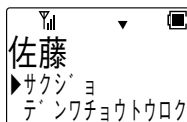
発信記録や着信記録の電話番号を登録する




発信記録や着信記録の電話番号を、ワンタッチダイヤルに登録することができます。

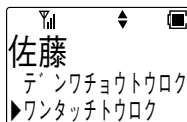
- 1 登録したい発信記録または着信記録のデータを、ディスプレイに表示します。






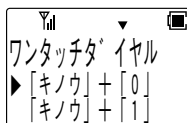
- 2  を押します。



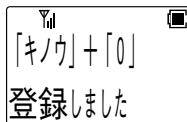
- 3  または  を押して「ワンタッチトウロク」を選択し、 を押します。



- 4 登録するワンタッチボタンを  または  で選択し、 を押します。

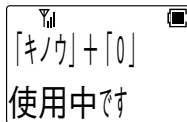


- 登録が正常に終了すると「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



ちょっと一言!

- 登録するワンタッチボタンが既に使われている場合は、その旨のメッセージが表示され、再び手順4の操作を行います。

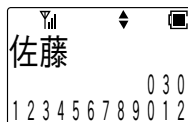


電話帳ダイヤルの電話番号を登録する

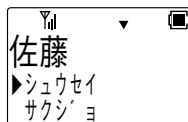
電話帳ダイヤルの電話番号を、ワンタッチダイヤルに登録することができます。

1 登録したい電話帳ダイヤルのデータを、ディスプレイに表示します。

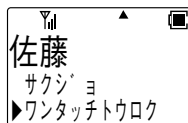
- 電話帳ダイヤル検索方法は、「電話帳ダイヤルでかける」を参照ください。
 <電話帳ダイヤルでかける>…(→71ページ)



2 を押します。



3 または を押して「ワンタッチトウロク」を選択し、 を押します。

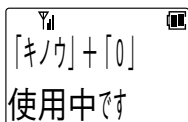
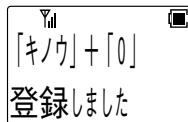
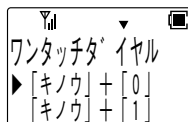


4 登録するワンタッチボタンを または で選択し、 を押します。

- 登録が正常に終了すると「ピピ」という確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ちょっと一言!

- 登録するワンタッチボタンが既に使われている場合は、その旨のメッセージが表示され、再び手順4の操作を行います。

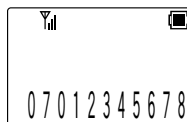


6 各モード共通のさらに便利な使い方

スピーカで聞きながら電話をかける

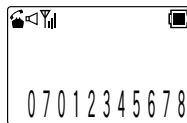
呼び出し音や相手の声をスピーカで聞くことができます。


1 電話番号をダイヤルします。

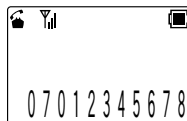


2 を1秒以上押します。




- スピーカマークが点灯し、スピーカから呼び出し音が聞こえます。



3 相手の方と話すには を押します。



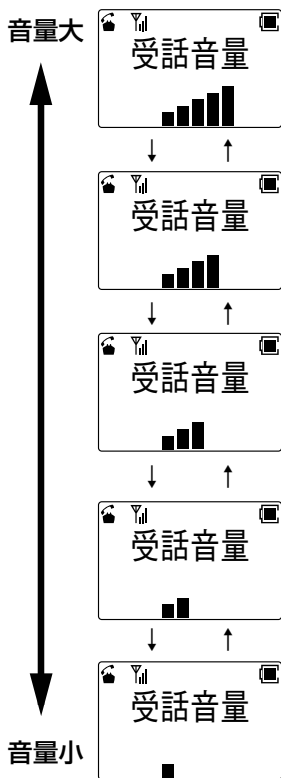
ちょっと一言!

- スピーカを使用したままでは、こちらの音声相手に伝わりません。
- 通話中にスピーカを使用したい時は を押します。
(押すたびにスピーカのオン/オフが切り替わります)
- スピーカ音量を調節したいときは、通話中(スピーカ使用中)に  を押して調節してください。

受話音量を調節する

通話をしている間に相手の声の大きさを5段階に調節できます。

- 1 通話中に▼または▲を押します。
- 2 ▼を押すと↓の方向で、▲を押すと↑の方向で順番に受話音量が変わります。
- 3 お好みの音量に調節した後、約2秒で元の表示に戻ります。



ちょっと一言!

- 通話を終了しても設定した音量は変わりません。

1 はじめに

2 準備

3 構内モード

4 公衆モード

5 トランシーバ

6 さらに便利

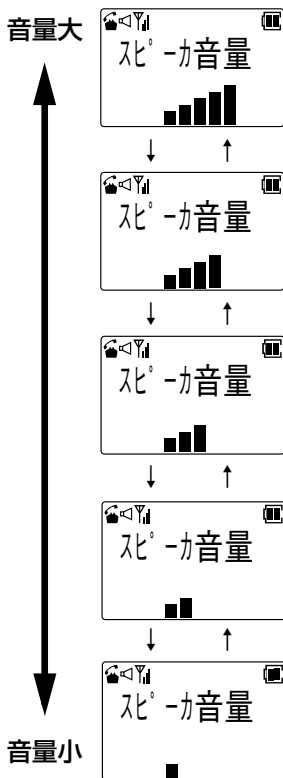
7 ご参考に

6 各モード共通のさらに便利な使い方

スピーカ音量を調節する

スピーカ使用中に相手の声の大きさを5段階に調節できます。

- 1 通話中(スピーカ使用中)に、▼または▲を押します。
- 2 ▼を押すと↑の方向で、▲を押すと↓の方向で順番にスピーカ音量が変わります。
- 3 お好みの音量に調節した後、約2秒で元の表示に戻ります。



ちょっと一言!

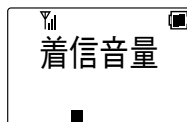
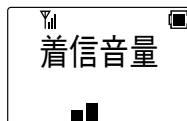
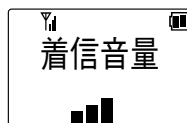
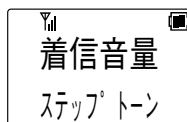
- スピーカの使用を終了しても、設定した音量は変わりません。

着信音量を調節する

電話がかかってきたときに鳴る着信音の大きさを3段階に調節できます。また、着信音を鳴らないようにすることもできます。

- 1 待ち受け状態、または着信中に▼または▲を押します。
- 2 ▼を押すと↓の方向で、▲を押すと↑の方向で順番に着信音の音量が変わります。
- 3 お好みの音量に調節した後、約2秒で元の表示に戻ります。

音量大



音量小

ちょっと一言!

- 電源を切っても設定した音量は変わりません。

Note

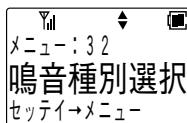


- 着信音が鳴らないように設定されているときはSマークが点灯します。
- バイブレーション着信が設定されているとき、ステップトーンはバイブレーション→小→中→大となります。
- マナーモード中はマナー設定で選択された動作に従います。
<マナーモードの機能を選択する>…(→102ページ)

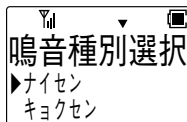
6 各モード共通のさらに便利な使い方

着信の種類ごとに音をかえる

1 待ち受け状態で、**[保留]** **3** **DEF** **2** **ABC** の順に押して「鳴音種別選択」を表示させます。



2 **[保留]** を押します。

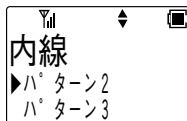


3 **[下向き矢印]** または **[上向き矢印]** を押して着信の種類を選択し、**[保留]** を押します。

・現在選択されている着信音が鳴ります。

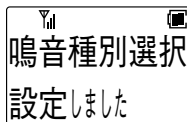
4 **[下向き矢印]** または **[上向き矢印]** を押して音の種類を選択します。

・**[下向き矢印]** または **[上向き矢印]** を押すたびに選択された着信音になります。



5 **[保留]** を押します。

・登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



ちよつと言!

●設定できる着信の種類は以下の通りです。

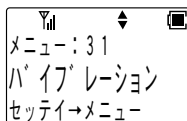
- 内線着信
- 外線着信
- PBX/CES着信
- 時計アラーム
- 公衆(PHS)着信
- トランシーバ着信
- ドアホン着信

●選択できる着信音は以下の通りです。

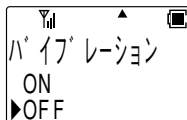
- パターン1～6
- ドアホン1～2
- メロディ1：エンターテナー／ジョプリン
- メロディ2：四季～春～／ビバルディ
- メロディ3：軍隊行進曲／シューベルト
- メロディ4：アビニヨンの橋の上で／フランス民謡
- メロディ5：故郷の空／スコットランド民謡

着信を振動で知らせる(バイブレーション着信)

- 1 待ち受け状態で、 の順に押し、「バイブレーション」を表示させます。



- 2 を押します。

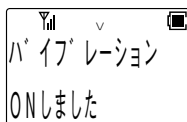


- 3 または を押してバイブレーションの「ON/OFF」を選択します。

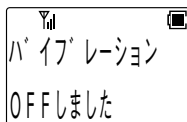
- 4 を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

設定した場合



解除した場合



ちよつと言!

- バイブレーションが設定されているときは、Vマークが点灯します。
- バイブレーションを設定すると、着信音量に関係なく電話がかかってきたときに振動します。
着信音がある場合は、着信音とバイブレーションが同時に行われます。
- 着信音量が「ステップトーン」でバイブレーションが設定されている場合は、一定時間(10秒)バイブレーションを行った後にステップトーンの着信音となります。この時、バイブレーションは停止します。
- マナーモードになっている場合は、マナー設定のバイブレーションの設定に従います。
<マナーモードの機能を選択する>…(→102ページ)

Note

- 充電台に置いているときは、バイブレーションは行いません。

6 各モード共通のさらに便利な使い方

マナーモード

周囲の迷惑にならないように、着信音、確認／警告音、バイブレーションの機能をボタン一つであらかじめ設定した内容に一時的に変更します。

マナーモードを設定する

1 待ち受け状態で、**[マナー]**を1秒押します。

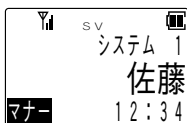
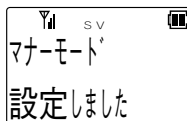
- ・確認音はマナー設定に従います。

ちょっと一言!

- マナーモードが設定されているときは、待ち受け状態でマナーマークが表示されます。
- 電源を切ってもデータは保持されます。
- マナーモード中はマナー設定に従ってSマーク、Vマークが点灯します。

Note

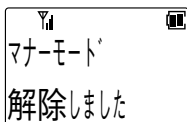
- キーロック中の操作は無効です。



マナーモードを解除する

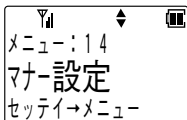
1 マナーモード状態で、**[マナー]**を1秒押します。

- ・解除が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



マナーモードの機能を選択する

1 待ち受け状態で、**[保留]** **[1]** **[4 GH]**の順に押して「マナー設定」を表示させます。

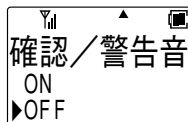


2 **[保留]**を押します。

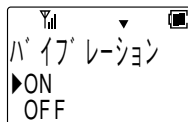


3 **[下向き矢印]** または **[上向き矢印]** を押して着信音の「ON／OFF／オートオフ」を選択し、**[保留]**を押します。

- 4 ▼または▲を押して確認音／警告音の「ON／OFF」を選択し、**保留**を押します。

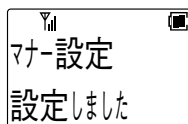


- 5 ▼または▲を押してバイブレーションの「ON／OFF」を選択します。



- 6 **保留**を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



ちょっと一言!

- バイブレーションを設定すると、着信音量に関係なく電話がかかってきたときに振動します。着信音がある場合は、着信音とバイブレーションが同時に行われます。
- 着信音量が「ステップトーン」でバイブレーションが設定されている場合は、一定時間(10秒)バイブレーションを行った後にステップトーンの着信音となります。この時、バイブレーションは停止します。
- マナーモードになっている場合は、マナー設定のバイブレーションの設定に従います。
- 着信音設定でオートオフを選択した場合は、着信音を30秒間鳴音した後に鳴音を停止させます。またこのときに新たな着信(優先度の高い着信)が発生した時は、その時点から30秒間鳴音します。

Note



- 充電台に置いているときは、バイブレーションは行いません。

6 各モード共通のさらに便利な使い方

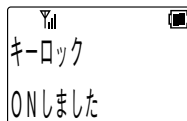
誤操作の防止(キーロック)

電話機を持ち歩くときなどに間違えてボタンを押してしまわないようにするには、キーロックを設定すると便利です。



キーロックを設定する

1 待ち受け状態で、を1秒押します。

- キーロック設定が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



ちょっと一言!

- キーロックの設定は電源を切ると解除されます。
- 電話がかかってきたときに、を1秒以上押すと電話を受けることができ、通話中は一時解除されます。通話を切ると再びキーロックが設定されます。
- エニーキー応答設定がONの時も、キーロックが優先されます。
- 通話中にはキーロックの設定操作、解除操作はできません。
- キーロック中であっても時刻のアラーム鳴音停止、着信中の鳴音停止(クイックサイレント)をを押して行うことができます。

Note

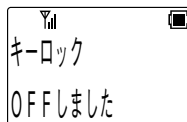


- キーロック中は、ディスプレイ、ダイヤルライトの点灯はしません。
- キーロック中にボタンを押すと、ディスプレイに「キーロック」と一定時間表示されます。

キーロックを解除する

1 キーロック状態で、を1秒押します。




- キーロック解除が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

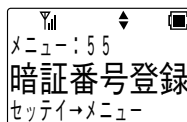



暗証番号の登録／変更

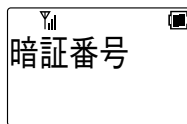
ダイヤルロック、電話帳ロックを設定／解除するために必要な暗証番号(4桁)を登録します。

暗証番号の登録

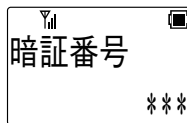
1 待ち受け状態で、   の順に押し
して「暗証番号登録」を表示させます。



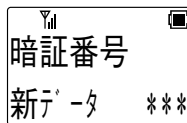
2  を押します。



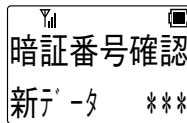
3 暗証番号が登録済みの場合は、現在の
暗証番号4桁(0000～9999)を入力
します。



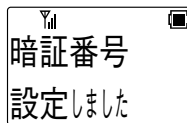
4 新しい暗証番号4桁を入力します。



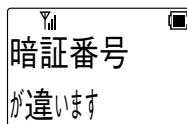
5 新しい暗証番号4桁を確認のためもう
一度入力します。



- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



- 登録済み暗証番号及び暗証番号確認の入力が誤っていると、ピピピピピという警告音が鳴ります。



6 各モード共通のさらに便利な使い方

Note



- 登録した暗証番号は、ダイヤルロックや電話帳ロックを解除するときに必要なので、メモを取っておくなどして忘れないように気を付けてください。万一、登録した暗証番号を忘れてしまったときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 暗証番号の削除はできません。
- 暗証番号を新規登録する場合は、現在の暗証番号の入力は省略されます。
- 暗証番号は電源を切っても消えません。
- 入力した番号は*で表示されます。

電話をかけられないようにする(ダイヤルロック)

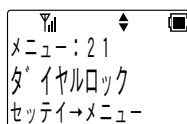
あらかじめダイヤルロックを設定しておきますと、他の人に電話をかけられないようにすることができます。ダイヤルロックを設定するにはあらかじめ暗証番号の登録が必要です。

ダイヤルロックを設定すると…

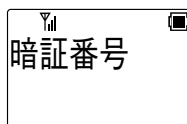
- 構内モード、公衆モード及びトランシーバモードの各モードでは電話をかけることができません。(110番、119番以外)
- 電話を受けることはできません。
- 電源を入れたり切ったりすることはできません。
- キーロック以外の登録操作は行えません。

ダイヤルロックの設定

1 待ち受け状態で、**保留**(2カabc) **1**(ア)の順に押して「ダイヤルロック」を表示させます。

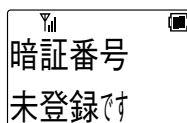


2 **保留**を押します。

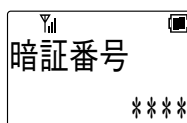


- 暗証番号が登録されていないときはピピピピピという警告音が鳴り、ダイヤルロックを設定することはできません。

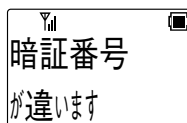
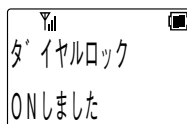
3 登録されている暗証番号4桁を入力します。



- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



- 登録されている暗証番号と入力暗証番号が違うときには、ピピピピピという警告音が鳴ります。



1 はじめに

2 準備

3 構内モード

4 公衆モード

5 トランシーバモード

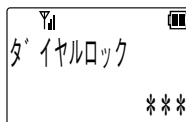
6 さらに便利に使うには

7 ご参考に

6 各モード共通のさらに便利な使い方

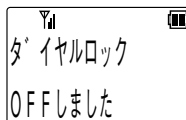
ダイヤルロックの解除

- 1 登録されている暗証番号4桁を入力します。

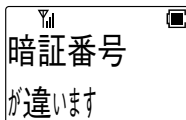


- 2  を押します。


- 解除が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。




- 登録されている暗証番号と入力暗証番号が違うときには、ピピピピピという警告音が鳴ります。



ちょっと一言!

- ダイヤルロックの解除を途中でやめたいときには、 を押してください。

Note

- ダイヤルロック中に無効なボタンを押すと、ディスプレイに“ダイヤルロック”と表示されます。
- 公衆発信時の時はダイヤルロック中でも警察(110)、消防(119)にかけることができます。
ダイヤルロック中にダイヤルを押すと「***」と表示されますが、 を押すとディスプレイには「110」または「119」と表示されます。
- ダイヤルロックの設定は、電源を切っても解除されません。
- キーロックとダイヤルロックが両方とも設定されているときは、キーロックを解除した後でダイヤルロックを解除してください。
- 登録した暗証番号は、ダイヤルロックや電話帳ロックを解除するときに必要なので、メモを取っておくなどして忘れないように気を付けてください。万一、登録した暗証番号を忘れてしまったときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電話帳を開けないようにする(電話帳ロック)

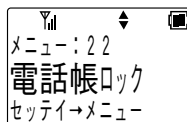
あらかじめ電話帳ロックを設定しておきますと、他の人に電話帳を開かれないようにすることができます。電話帳ロックを設定するにはあらかじめ暗証番号の登録が必要です。

電話帳ロックを設定すると…

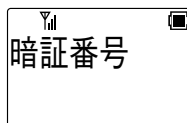
- 電話帳を開くことができなくなります。
- 電話をかけたり、受けることはできません。
- 電源を入れたり切ったりすることはできます。

電話帳ロックの設定／解除

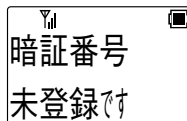
1 待ち受け状態で、**保留** **2カABC** **2カABC**の順に押し
して「電話帳ロック」を表示させます。



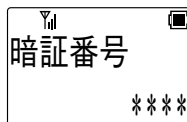
2 **保留**を押します。



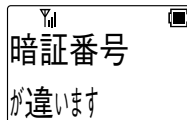
- 暗証番号が登録されていないときはピピピピピという警告音が鳴り、電話帳ロックを設定することはできません。



3 登録されている暗証番号4桁を入力します。

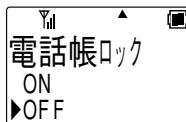


- 登録されている暗証番号と入力暗証番号が違うときはピピピピピという警告音が鳴り、電話帳ロックを設定することはできません。



6 各モード共通のさらに便利な使い方

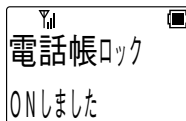
- 4 または を押して「ON/OFF」を選択します。



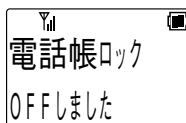
- 5 を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

設定した場合



解除した場合



ちよつと言!

- 電話帳ロックの解除を途中でやめたいときは、 を押してください。

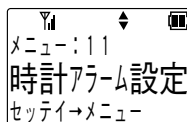
Note



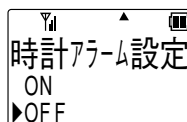
- 電話帳ロック中にを押すと、ディスプレイに“電話帳ロック”と表示されます。
- 電話帳ロックの設定は、電源を切っても解除されません。
- キーロックまたはダイヤルロックと電話帳ロックが設定されているときは、キーロックまたはダイヤルロックを解除した後で電話帳ロックを解除してください。
- 登録した暗証番号は、ダイヤルロックや電話帳ロックを解除するときに必要ですので、メモを取っておくなどして忘れないように気を付けてください。万一、登録した暗証番号を忘れてしまったときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

アラーム時刻を設定する

1 待ち受け状態で、**保留** **1** **1**の順に押して「時計アラーム設定」を表示させます。



2 **保留**を押します。

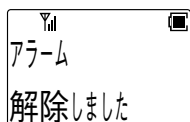


3 **▼** または **▲** で時計アラーム設定の「ON/OFF」を選択します。

4 **保留**を押します。

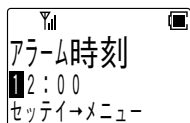
- OFFが選択されているときは、ピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

解除した場合

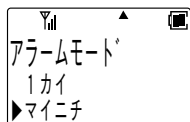


5 アラーム時刻を設定します。

- 時刻は24時間制です。

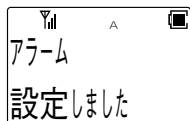


6 **保留**を押します。



7 **▼** または **▲** を押してアラームモードの「1カイ/マイニチ」を選択します。

8 **保留**を押します。



ちよつと一言!

- アラームが設定されているときは、Aマークが点灯します。
- アラーム音は着信鳴音種別設定で設定された音になります。
- アラーム音量は着信音量と同じになります。マナーモード時はマナー設定に従います。
- アラーム鳴音時間は1分間です。
- アラーム鳴音を停止するときは**切**を押します。キーロック中でも**切**を押すとアラーム鳴音は停止します。
- 電源を切ってもデータは保持されます。

6 各モード共通のさらに便利な使い方

32Kデータ通信

32Kデータ通信用の市販アダプタなどを介してパソコンやPDA(携帯情報端末)のデータ通信が利用できます。

- PIAFS(PHSインターネットアクセスフォーラム)準拠の伝送方式を採用したデータ通信がご利用いただけます。
- 発信や着信の応答は、パソコンやPDAで操作します。操作の詳細や設定については32Kデータ通信用アダプタなどの取扱説明書をご覧ください。

1 32Kデータ通信用アダプタなどを利用してパソコンなどと電話機のデータコネクタを接続ケーブルで接続します。

- 接続ケーブルのプラグは十分に奥まで差し込んでください。

2 パソコン等を使って、32Kアダプタ(データカード)等の設定を行います。

3 本電話機の32Kデータ通信の設定が自動的に行われます。

- 32Kデータ通信の設定が完了すると、ピピと鳴り、約2秒間「DATA通信OK」と表示された後、元の状態に戻ります。



ちよっと一言!

- 接続ケーブルを接続したままでも、通常の音声通話は可能です。

Note



- 32Kデータ通信の発信、着信および通信中は、(切)以外の電話機での操作はすべて無効となります。
- ダイヤルロックが設定されているときは、発信できません。32Kデータ通信の発信をするときは、あらかじめダイヤルロックを解除してください。
- デュアルモードで自営と公衆に同時に待ち受けているときの32Kデータ通信の発信は内線電話機からの発信となります。PHSサービスを利用して発信したい場合は公衆モードにしてから発信してください。

スイッチ付イヤホンマイクを使う

イヤホンマイク端子に別売りのスイッチ付イヤホンマイクを接続すると、スイッチを押すだけで電話をかけたり受けたりすることができます。

電話をかける

あらかじめワンタッチダイヤルのイヤホンマイクにかけたい電話番号を登録しておけば、電話番号をダイヤルしたり、電話帳ダイヤルを呼び出したりしなくてもスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すだけで電話をかけられます。

1 スイッチ付イヤホンマイクを接続します。

- イヤホンマイク端子にスイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込みます。

2 スイッチをピピッと鳴るまで押したままにします。

- 登録されている番号に電話がかかります。

3 通話します。

4 スイッチをピーと鳴るまで押したままにします。

- 電話が切れます。
- 本体の(切)を押しても通話は終了します。

電話を受ける

1 スイッチ付イヤホンマイクを接続します。

- イヤホンマイク端子にスイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込みます。

2 電話がかかってくると、着信音が鳴ります。

- 着信音はイヤホンとスピーカ両方から聞こえます。

6 各モード共通のさらに便利な使い方

3 スイッチをピピッと鳴るまで押したままにします。

- 本体の(通話)を押しても電話を受けることはできません。

4 通話します。

5 スイッチをピピッと鳴るまで押したままにします。

- 電話が切れます。
- 本体の(切)を押しても通話は終了します。

ちょっと一言!

- ワンタッチダイヤルの設定方法によりダイヤルを登録できます。詳しくは、ワンタッチダイヤルを参照してください。
＜ワンタッチボタンでかける＞…(→90ページ)

いろいろな機能を設定する

ご使用方法にあわせて、電話機のいろいろな機能を設定することができます。

- **☰**を押したときに表示されるメニュー項目は、<メニューボタンで設定できる機能の一覧>…(→124, 125ページ)でご確認ください。
- 操作を途中でやめたいときは**切**を押してください。
- 操作の途中で約30秒間ボタンを押さないと設定は無効になります。もう一度最初からやり直してください。**☑**を押すと前の画面に戻ることができます。
- 登録操作中に電話がかかってくる登録は無効となり、着信音が鳴りません。通話が終わってからもう一度最初からやり直してください。

1 はじめに

2 準備

3 構内モード

4 公衆モード

5 モトランシールバ

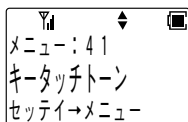
6 さらに便利には

7 ご参考に

6 各モード共通のさらに便利な使い方

操作するときの音を消す(キータッチトーン)

- 1 待ち受け状態で、**保留** **4** **1** の順に押して「キータッチトーン」を表示させます。



- 2 **保留** を押します。

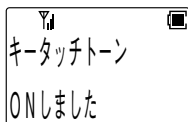


- 3 ▼ または ▲ を押してキータッチトーンの「ON/OFF」を選択します。

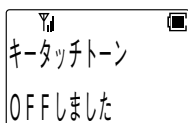
- 4 **保留** を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

音を出したい場合

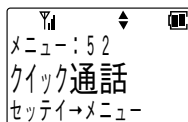


音を消したい場合

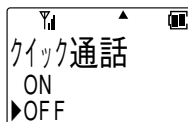


クイック通話

- 1 待ち受け状態で、**保留** **5** **2** の順に押して「クイック通話」を表示させます。



- 2 **保留** を押します。

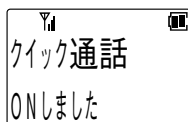


- 3 ▼ または ▲ を押してクイック通話の「ON/OFF」を選択します。

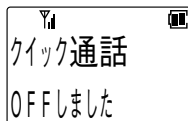
- 4 **保留** を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

設定した場合



解除した場合

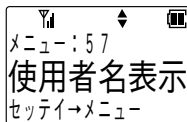


ちょっと一言!

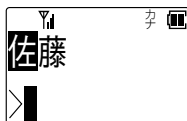
- クイック通話を設定したとき、電話を受けるときや切るときは以下の手順で行ってください。
 - 1.電話がかかってきたときは、充電台から取り上げた後そのまま相手の方と通話してください。
 - 2.通話が終わったらそのまま電話機を充電台に戻してください。自動的に通話が切れます。
- 電話をかけるときに、充電台から取り上げた後(通話)を押さずにそのままダイヤルできるようにクイック通話を設定することもできます。この場合には電話機の工事でデータ設定が必要です。詳しくはお買い求めの販売店にご相談ください。

使用者名表示

- 1 待ち受け状態で、**保留** (5 J/K) (7 P/M ORS) の順に押して「使用者名表示」を表示させます。



- 2 **保留** を押します。



- 3 現在登録されている名称が上段に表示されるので、**戻る** または **決定** を押してカーソルを移動し、新しい名称を入力してください。
 - ・<文字を入力する>…(→66ページ)

- 4 **保留** を押します。
 - ・登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ちょっと一言!

- 待ち受け状態のとき、ディスプレイの中段に登録された名称が表示されます。

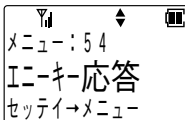
Note

- 構内モードのときは接続されている主装置の表示機能が優先されます。

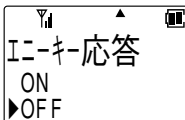
6 各モード共通のさらに便利な使い方

ダイヤルを押すだけで着信に 応答する(エニーキー応答)

- 1 待ち受け状態で、**保留** (5ナ) (4ナ) の順に押し
て「エニーキー応答」を表示させます。



- 2 **保留** を押します。

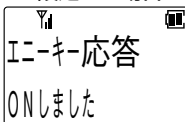


- 3 **▼** または **▲** を押してエニーキー
応答の「ON/OFF」を選択します。

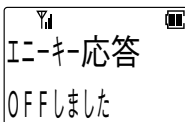
- 4 **保留** を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確
認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

設定した場合



解除した場合



ちよつと言!

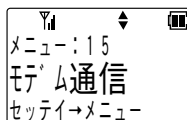
- エニーキー応答を設定すると、電話がか
かってきたとき **0** (0) ~ **9** (9)、***** (*), **#** (#) を押
しても、電話に出ることができます。

Note

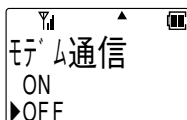
- キーロック中にエニーキー応答はできません。キーロッ
ク中に着信応答するには **0** (0) を2秒押し続けます。

モデム通信

- 1 待ち受け状態で、**保留** (1ア) (5ナ)
の順に押しして「モデム通信」を
表示させます。



- 2 **保留** を押します。

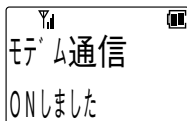


- 3 **▼** または **▲** を押してモデム
通信の「ON/OFF」を選択し
ます。

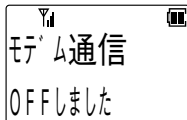
- 4 **保留** を押します。

- 登録が正常に終了するとピピとい
う確認音が鳴り、待ち受け状態に
戻ります。

設定した場合



解除した場合



ちょっと一言!

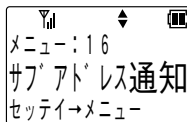
- モデム通信を設定すると、電話機のイヤホンマイク差込口に接続した市販モデムで、データ通信ができます。
- 電話機は、モデムからのダイヤルで電話をかけることはできません。電話機からの操作で通信相手と接続してから通信を開始してください。
- モデムを使用したデータ通信はモデム通信が設定され、イヤホンマイク差込口に通信ケーブルが差し込まれた状態で、可能となります。

Note

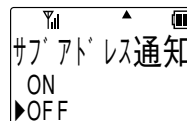
- イヤホンマイクを使用して通話を行う場合は、モデム通信を解除してください。

サブアドレスを通知する

- 1 待ち受け状態で、**保留** (1) **ア** (6) **ハ** (MND) の順に押して「サブアドレス通知」を表示させます。



- 2 **保留** を押します。

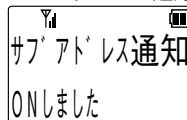


- 3 **▼** または **▲** を押してサブアドレス通知の「ON/OFF」を選択します。

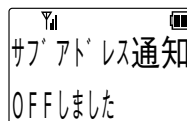
- 4 **保留** を押します。

- ・登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

サブアドレスを通知したい場合



通知したくない場合



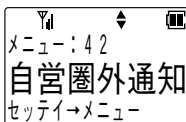
ちょっと一言!

- ISDNサブアドレスを通知するように設定すると、PHSサービスを利用してISDN端末に電話をかけるときに、電話番号とサブアドレスの間に(6)をダイヤルすることにより、サブアドレスを指定することができます。

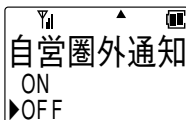
6 各モード共通のさらに便利な使い方

自営圏外通知

- 1 待ち受け状態で、**保留** (4) (2) の順に押して「自営圏外通知」を表示させます。



- 2 **保留** を押します。

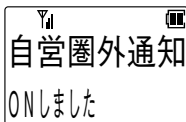


- 3 **▼** または **▲** を押して自営圏外通知の「ON/OFF」を選択します。

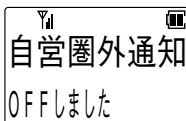
- 4 **保留** を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

設定した場合



解除した場合



ちよつと一言!

- 自営圏外通知を設定すると、構内モードで圏外へ移動したときにピー..ピー..ピー..という警告音で知らせることができます。

公衆のエリア内に入ったことを通知する(公衆圏内通知)

- 1 待ち受け状態で、**保留** (6) (1) の順に押して「公衆圏内通知」を表示させます。



- 2 **保留** を押します。

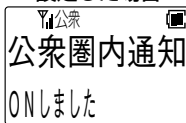


- 3 **▼** または **▲** を押して公衆圏内通知の「ON/OFF」を選択します。

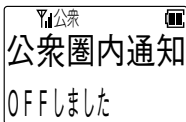
- 4 **保留** を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

設定した場合



解除した場合



ちよつと一言!

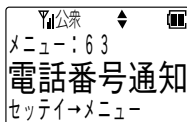
- 公衆圏内通知を設定すると、公衆モード時にPHSサービスエリア内に入ったことをピピピピという音が3回鳴ってお知らせします。

Note

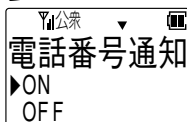
- 公衆圏内通知は1回のみ行います。新たに通知を行いたいときは、もう一度設定を行ってください。

電話番号通知

- 1 待ち受け状態で、**保留** **6** **ハ** **3** の順に押して「電話番号通知」を表示させます。



- 2 **保留** を押します。

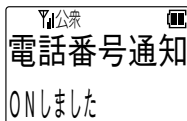


- 3 ▼ または ▲ を押して電話番号通知の「ON/OFF」を選択します。

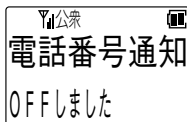
- 4 **保留** を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

設定した場合



解除した場合

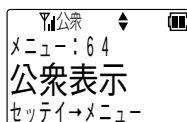


ちよつと言!

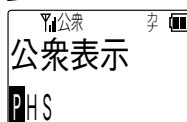
- 電話番号通知を設定すると、PHSサービスを利用して電話をかけたときに、相手方のPHS電話機などのディスプレイにこちらのPHSサービスの電話番号を表示させることができます。

公衆モード時ディスプレイ表示

- 1 待ち受け状態で、**保留** **6** **ハ** **4** の順に押して「公衆表示」を表示させます。



- 2 **保留** を押します。



- 3 現在表示されている名称が表示されるので、**星** または **右** でカーソルを移動し、新しい名称を入力してください。

- ・<文字を入力する>…(→66ページ)

- 4 **保留** を押します。

- ・登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

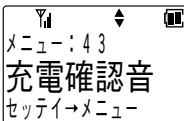
ちよつと言!

- 公衆モードのとき、待ち受け状態のディスプレイの上段に登録された名称が表示されます。
- 漢字入力はできません。

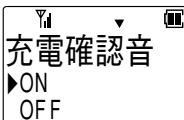
6 各モード共通のさらに便利な使い方

充電確認音

- 1 待ち受け状態で、**保留** **4** **3** の順に押して「充電確認音」を表示させます。



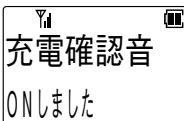
- 2 **保留** を押します。



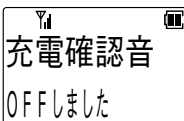
- 3 ▼ または ▲ を押して充電確認音の「ON/OFF」を選択します。
- 4 **保留** を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

設定した場合



解除した場合

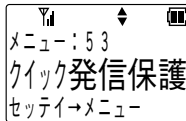


ちよつと一言!

- 充電確認音は、本電話機が充電台に正しく置かれたことをお知らせするものです。

クイック発信保護

- 1 待ち受け状態で、**保留** **5** **3** の順に押して「クイック発信保護」を表示させます。



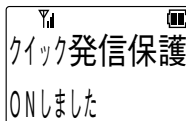
- 2 **保留** を押します。



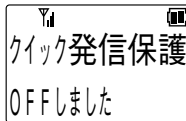
- 3 ▼ または ▲ を押してクイック発信保護の「ON/OFF」を選択します。
- 4 **保留** を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

設定した場合



解除した場合

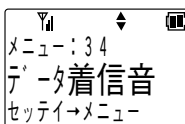


ちよつと一言!

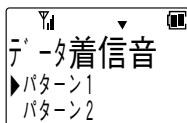
- クイック発信保護をONにすると、電話機を充電台から取り上げた際、クイック通話による自動発信が行われた場合、その後約30秒間ボタンを押さないと自動的に回線が切れます。

データ着信音

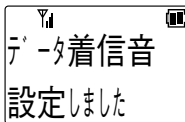
- 1 待ち受け状態で、**保留** **3** **DEF** **4** の順に押して「データ着信音」を表示させます。



- 2 **保留** を押します。



- 3 **▼** または **▲** を押して音の種類を選択し **保留** を押します。
- 登録が正常に終了するとビピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



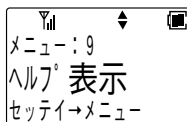
ちよっと一言!

- データ着信音を設定すると、32Kデータ通信の着信音を指定した種類で鳴らすことができます。
- 選択できる着信音は以下の通りです。
パターン1~6
メロディ1~5
ショウオン(着信音を出しません)

操作が分からないときは
(ヘルプ表示)

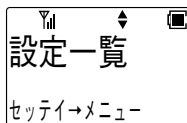
使い方を忘れたときにご利用ください。

- 1 待ち受け状態で、**保留** **9** **W?** の順に押して「ヘルプ表示」を表示させます。

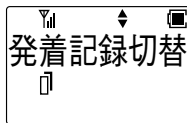


- 2 **保留** を押します。

- 設定一覧を見たいときはさらに **保留** を押してから、**▼** または **▲** でスクロールさせて見てください。



- 3 **▼** または **▲** でスクロールさせ、知りたい操作を探します。



ちよっと一言!

- 設定一覧で設定項目を参照中に **保留** を押すことで、その項目を設定することができます。

7 メニューボタンで設定できる機能の一覧

登録操作は[保留]を押し、メニュー番号を入力して行いますが、[保留]を押したあと[▼]または[▲]を繰り返し押して目的のメニューを表示することもできます。

表示	メニュー番号	機能の説明	初期値	ページ
自番号表示	0	電話番号の確認をします	—	24
時計アラーム設定	11	アラーム時刻を設定します	—	111
システム選択	12	システムを手動で切り替えます	—	28
モード切替	13	動作モードを切り替えます	ジイ	23
マナー設定	14	マナー時の動作を設定します	(注1)	102
モデム通信	15	モデム通信を設定します	OFF	118
サブアドレス通知	16	サブアドレス通知を設定／解除します	OFF	119
Trグループ登録	17	トランシーバグループを登録します	—	64
ダイヤルロック	21	ダイヤルロックを設定／解除します	OFF	107
電話帳ロック	22	電話帳ロックを設定／解除します	OFF	109
電話帳全消去	23	電話帳をすべて消去します	—	77
バイブレーション	31	バイブレーション着信を設定／解除します	OFF	101
鳴音種別選択	32	着信音のパターンを切り替えます	—	100
データ着信音	34	データ着信音を設定／解除します	—	123
キータッチトーン	41	キータッチトーンを設定／解除します	ON	116
自営圏外通知	42	自営圏外通知を設定／解除します	OFF	120
充電確認音	43	充電確認音を設定／解除します	ON	122

表示	メニュー番号	機能の説明	初期値	ページ
時刻設定	51	時刻を設定します	—	26
クイック通話	52	クイック通話を設定／解除します	OFF	116
クイック発信保護	53	クイック発信保護を設定／解除します	OFF	122
エニーキー応答	54	エニーキー応答を設定／解除します	OFF	118
暗証番号登録	55	暗証番号を登録します	—	105
トランシーバ番号	56	トランシーバ番号を設定します	—	61
使用者名表示	57	使用者名を設定します	—	117
電話帳グループ名	58	電話帳グループ名を設定します	—	79
公衆圏内通知	61	公衆圏内通知を設定／解除します	OFF	120
オフィスアンテナ	62	オフィスアンテナを設定／解除します	OFF	59
電話番号通知	63	電話番号通知を設定／解除します	ON	121
公衆表示	64	公衆表示を設定します	—	121
ワンタッチダイヤル	7	ワンタッチダイヤルを登録／修正／削除します	—	90
ヘルプ表示	9	ヘルプを表示します	—	123

(注1) 着信音 OFF
 確認／警告音 OFF
 バイブレーション ON

- PHSの加入契約をされていない場合は、メニュー番号61～64のメニューは表示されません。
- 「Trグループ登録」はトランシーブモード時のみ表示されます。

7 電池パックの取り扱い

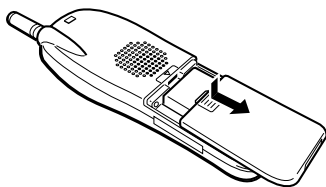
電池パックは消耗品です。電話機の使用頻度にもよりますが、約1年程度ご使用になります。

十分充電してもすぐ電池の残量がなくなる場合は、電池が消耗している可能性があります。新しい電池パック(オプション)に交換してください。詳しくはお買い求めの販売店にご相談ください。

電池パックの交換

1 電源が入っているときは、電源(切)ボタンを1秒以上押して電源を切ります。

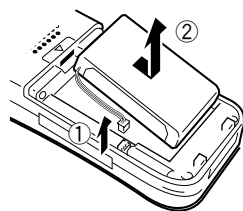
2 電池カバーを取り外します。



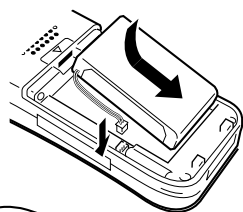
3 コネクタを外した後(①)、電池パックを取り出します(②)。

お願い

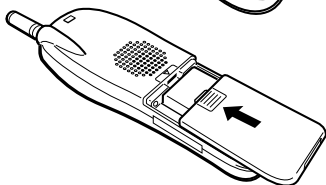
- 電池本体を本電話機から取り外すときは、電池コードを引っ張らず、必ず電池本体を手でつかんで取り外してください。



4 コネクタを差し込み、新しい電池パックを入れます。



5 電池カバーを取り付けます。



6 充電台に置き、7時間以上充電します。

お願い

- 電池パックの交換は、必ず電源を切ってから行ってください。

危険

● 電池パックについて


電池パックの取り扱いの際には次の点にご注意ください。

- 充電には専用充電台を使用してください。
- 火の中に投入したり、加熱しないでください。
- 指定の電話機以外にはご利用になれません。

● 電池パック回収のお願い

- 不要となった電池パックはお買い求めの販売店にお渡しください。なお、電池を分別回収している市町村がありますので、その場合は各市町村の条例に基づいて処分してください。


7 電池の残量がなくなったときは

電池がなくなるとピ...ピ...ピ...という警報音が鳴り、ディスプレイの  マークが点滅します。





このようなときは、通話中ならばすみやかに通話を終わらせて電話機を充電してください。

ちよつと言!

- 通話中に警報音が鳴ってもそのまま通話を続けると、約1分で電話が切れてしまいますのでご注意ください。(電池の状態や周囲の温度などによってはそれよりも短い時間で切れてしまうこともあります)
- 電池の状態や周囲の温度などの影響で、ディスプレイの  マークでまだ残っているように見えても電池切れの警報が鳴ることがあります。

7 通話できる範囲から外れたときは

待ち受け中や電話をかけようとしたとき

- 通話できる範囲から外れるとディスプレイの  マークが消えます。
このようなときは  マークが表示されるまで移動して、かけ直してください。

通話中のとき

- 通話できる範囲をはずれると、プープー... という警告音が鳴ります。または相手の声が聞こえなくなります。
- このようなときは、警告音が鳴らなくなる所（電波の強い場所）まで移動してください。

ちょっと一言!

- 圏外ではないのに電話をかけようとしてもプー..プーという音がして電話をかけられないのは...
 - 他のコードレス電話機が基地局のチャンネルをすべて使ってしまったて、空いているチャンネルが無いときにはディスプレイに「混み合っています」と表示され、プー..プーという話中音が聞こえます。このようなときは、しばらく待ってからかけ直してください。
 - 電波が強い場所でも電話機が自動的に構内基地局や公衆基地局などに登録動作を行っているため、**(通話)**やダイヤルボタンを押しても受け付けられない場合があります。このようなときは、しばらく待ってからかけ直してください。
- アンテナを伸ばすと受信感度がよくなります。

Note

- 通話中に圏外になったときは、警告音が鳴った後、電話が切れますのでご注意ください。
- コンクリートパネル板で仕切られている場所など、周囲の状況によって通話できる範囲が狭くなることがあります。
- 警告音が鳴っているときは通話することができません。

1 はじめに

2 準備

3 構内モード

4 公衆モード

5 モトランシーブ

6 さらに使うには便利

7 ご参考に

7 故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったときは、修理に出す前に次の点をご確認ください。

基本動作

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
電源が入らない	⑦ を 1 秒以上押ししていない	⑦ は 1 秒以上押ししてください	18
	バッテリー切れになっている	電話機を充電してください	19, 128
	電池パックが正しく装着されていない	電池パックを正しく装着してください	18, 126
動作しない	停電のため	故障ではありません	—
電話をかけられない	サービスエリア外にいる	サービスエリア内に移動してください	17, 129
	モード設定が異なっている	正しいモードに切り替えてください	21 ~ 23
	キーロックが設定されている	キーロックを解除してください	104
	ダイヤルロックが設定されている	ダイヤルロックを解除してください	108
	回線がいっぱいになっている	少し待ってからかけ直してみてください	—
	高速で移動しながら電話をしている	コードレス電話機は乗り物などに乗って高速で移動しているときは使用できません。停止してかけ直してみてください	7
電話帳が使えない	電話帳ロックが設定されている	電話帳ロックを解除してください	109
通話が突然切れた	サービスエリア外に出してしまった	サービスエリア内に戻ってかけ直してください	17, 129
	電波の届かない場所に入った	電波の届く場所に移動してかけ直してください	17, 129
	電池が残り少なくなった	電話機を充電してかけ直してください	19, 128
通話に雑音が入ったり通話が途切れる	PHSの公衆基地局や構内用の基地局から離れすぎている	基地局に近づいて通話してください	17, 129
	サービスエリア内でも電波の弱いところにいる	電波の強い所に移動して通話してください	6, 17, 129
	近くに雑音を発生する家電製品やOA機器がある	それらの機器からできるだけ離れて通話してください	8
	PHSの公衆基地局や構内用の基地局との間に障害物がある	できるだけ障害がない所へ移動して通話してください	6, 7

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
相手の声が小さい	受話音量を小さく設定している	受話音量を上げてみてください	97
	耳がきちんと受話口に当たっていない	耳をきちんと受話口に当てるようにしてください	—
会話中の相手の声が大きすぎる、ひずんで聞こえる	受話音量を大きく設定しすぎている	受話音量を下げてみてください	97
無線機の音が混信して聞こえる	近くに無線機などがある	場所を変えて通話してください	8
通話中にピーピーという警告音が聞こえる	電池の残量が少なくなっている	電池警報です。電話機を充電してください	128
	近くの基地局へ切り替えを行っている	ゾーン切り替えです 頻繁に聞こえる場合は場所を変えて通話してください	129
	トランシーバモードで3分以上通話している	3分ごとの切り替え音です 故障ではありません	61
移動中にピーピーという警告音が聞こえる	基地局のサービスエリア外に出た	圏外警報です お使いになるときはサービスエリア内に戻ってください	129
着信音が鳴らない	不在転送が設定されている	不在転送を解除してください	42~44
	着信音量をOFFに設定している	着信音量設定を小中大のいずれかに替えてください	99
	モード設定が異なっている	正しいモードに切り替えてください	21~23
	電池残量が少なくなっている	電話機を充電してください	19, 128
	基地局のサービスエリア外にいる	サービスエリア内に移動してから操作してください	6, 17, 129
着信音が小さい	着信音量を小さく設定している	着信音量を上げてみてください	99
着信音が大きすぎる	着信音量を大きく設定しすぎている	着信音量を下げてみてください	99
充電台に置いてても充電ランプが点灯しない	充電台の電源プラグがはずれている	電源プラグをきちんと差し込んでください	19, 20
	充電台に正しく置かれていない	正しく充電台に置いてください	19, 20
	充電台の電源コードが傷んでいる	電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。	4
7時間以上充電してもすぐに使えなくなる	充電台に正しく置かれていない	正しく充電台に置いてください	19, 20
	電池が消耗している(電池の寿命)	電池パックを交換してください	6, 18, 126
さわるとあたたかい	充電されたため	故障ではありません	19
相手に声が通らない	スピーカがオンになっている	スピーカをオフにしてください	96

7 故障かな？と思ったら

公衆モード

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
動作しない	PHSサービスの公衆基地局から離れすぎている	PHSサービスエリア内に移動してください	6,17,129
電話がかかけられない	PHSサービスの公衆基地局から離れすぎている	PHSサービスエリア内に移動してください	6,17,129
着信音が鳴らない	PHSサービスの公衆基地局から離れすぎている	PHSサービスエリア内に移動してください	6,17,129
	公衆モードに設定されていない	公衆モードに設定してください	21～23
通話に雑音が入ったり通話が途切れる	PHSサービスの公衆基地局から離れすぎている	PHSサービスエリア内に移動してください	6,17,129
	PHSサービスの電波の弱いところにいる	電波の強いところに移動してください	6,17,129
	PHSサービスの公衆基地局との間に障害物がある	できるだけ障害がない所へ移動して通話してください	6,17,129

トランシーバモード

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
他のコードレス電話機を呼び出せない	トランシーバモードに設定されていない	両方の電話機をトランシーバモードに設定してください	21～23 61
	呼び出す方と呼び出される方が離れすぎている	見通し距離で約100m以内に近づいてください	61
	トランシーバ通話の内線番号や登録が合っていない	トランシーバ通話の内線番号をもう一度登録してください	61

7 こんな音がしたら

受話口から出る音

種 別	音	こんな状態のときに聞こえます
内線ダイヤルトーン	ブー…または ブーブーブー…	構内モードまたはトランシーバモードで(通話)を押し、ダイヤルができるとき
公衆ダイヤルトーン	ブー…	公衆モードで(通話)を押し、ダイヤルができるとき
ビジートーン (話中音)	ブー..ブー…	ダイヤルした相手が通話中のときやチャネルビジーのとき
相手呼出中音	ブルブルブル..ブルブルブル..	相手を呼び出しているとき 構内モードとトランシーバモードとでは音が少し異なります
公衆保留音	ブブッ..ブブッ…	公衆モードで(保留)を押し、通話相手を保留しているとき
ゾーン切替音	ブーブーブー…	基地局の切り替えを行っているとき
通話休止予告音	ブー (約 1 秒間)	トランシーバモードで通話中、約 3 分ごとに聞こえます この音が聞こえたと約 20 秒後に約 3 秒間通話が途切れます
通話休止中音	ブーブー..ブーブー.. (約 3 秒間)	トランシーバモードで通話中に 3 分ごとに約 3 秒間聞こえます
接続中音	ブブブブブブ…	公衆モードで電話をかけたとき、相手を呼び出すまでの間聞こえます

スピーカ口から出る音

種 別	音	こんな状態のときに鳴ります
圏外警報音	ピー..ピー..ピー	サービスエリア外に移動したとき
電池残量警報音	ピ…ピ…ピ…	電池残量が規定値以下になったとき
確認音	ピピ	登録操作がうまくできたとき
警告音	ピピピピピ	登録操作がうまくできなかったとき
内線着信音	ピ°ピ°ピ°..ピ°ピ°ピ°..	内線電話機からの呼び出しのとき
外線着信音	ピ°ピ°ピ°ピ°ピ°ピ°ピ°ピ°..	外線からの呼び出しおよび公衆モードでの呼び出しのとき
トランシーバ着信音	ピ°-..ピ°-..ピ°-..ピ°-..	トランシーバモードの呼び出しのとき
電源投入確認音	ピー	電源を入れたとき
キータッチトーン	ピッ	ボタンを押したとき

1 はじめに

2 準備

3 構内モード

4 公衆モード

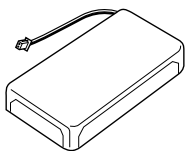
5 トランシーバ

6 さらに便利

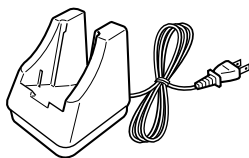
7 ご参考に

7 オプション

● M-24i電池パック



● M-24i充電台



7 主な仕様

	電話機本体	充電台
寸法・質量	45mm(幅)×22mm(奥行)×140mm(高さ) (アンテナおよび突起部を含まず) 約100g(電池/バックを含む)	77mm(幅)×75mm(奥行)×72mm(高さ) 約140g(電源コード含む)
使用電源	専用リチウムイオン電池 DC3.6V	AC100V、50/60Hz
消費電力	約0.4W	約1W

●仕様および外観は、性能改善等により予告なく変更する場合があります。

電池使用可能時間の目安

一度も通話や操作をせずに、連続して待ち受け状態を保った場合を連続待ち受け時間、ずっと通話だけを行った場合を連続通話時間といいます。

条 件		使用可能時間
モード	連続	
公衆モード	通話	約4.5時間
	待ち受け	約400時間
トランシーバモード	通話	約4.5時間
	待ち受け	約160時間
オートデュアルモード	通話	約4.5時間
	待ち受け	約220時間
構内モード	通話	約4.5時間
	待ち受け	約320時間

- 電池の使用可能時間は、電波が安定している場所における算出値です。電波の弱い場所での通話や電波の届かない場所では電池の消耗が多いため、表中の表示とは異なります。
- 充電のしかたや電池の劣化度、使用環境によって、表中の時間は変化します。
- 実際にご使用になれる時間は、待ち受け時間と通話時間などの組み合わせになりますので、発信・着信があったり、通話時間や移動することが多い場合は短くなります。
- 構内モードの待ち受け時間は主装置により異なります。
- 公衆モード、オートデュアルモード、構内モード時に構内アンテナ設定をONにした場合、使用可能時間は短くなります。

7 保守サービスのご案内

1. 保証について

保証期間(設置後1年間)の故障につきましては、無料で修理いたします。なお、保証期間中でも有料になる場合がありますので、主装置の保証書をよくお読みください。保証期間後は有料修理「実費保守サービス」扱いとさせていただきます。

2. 故障またはお問い合わせについて

故障の場合は販売店にご連絡いただければ、販売店経由にてお預かり修理をお受けいたします。

お買い上げ販売店に連絡できない場合、またはお問い合わせについては下記の弊社お客様窓口にお問い合わせください。

3. 実費保守サービスについて

実費保守サービス(修理に要した費用をいただきます。)

- お預かり修理：技術費用、部品代をいただきます。

4. 保守用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品(商品の特性を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、5年間保有しています。

保有期間が経過後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、販売店および弊社お客様窓口へお問い合わせください。

5. 電子情報の消去について

お客様または第三者等が本商品のお取り扱いを誤ったとき、本商品のメモリ等が静電気ノイズの影響を受けたとき、また故障修理等のときは、まれに記憶内容が変化、消失することがあります。

重要な内容は必ず控えておいてください。記憶内容が変化、消失したことによる損害については、弊社に重大な過失、故意がない限り、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

OKI

沖電気工業株式会社

本社 別館 〒108-8551 東京都港区芝浦 4 丁目 10 番 3 号 ☎03(3454)2111(代)
ネットワークシステムカンパニ
CTI営業本部

北海道支社 札幌 011(231)9446

東北支社 仙台 022(225)6601

北陸支社 金沢 076(222)2600

中部支社 名古屋 052(201)7001

関西支社 大阪 06(6226)1311

中国支社 広島 082(221)2211

四国支社 高松 087(822)1312

九州支社 福岡 092(771)9111

OKI 沖電気工業株式会社

お問い合わせ・ご用命は下記までご連絡ください。